

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人 弥栄福社会

社会福祉法人 弥栄福祉会 令和5年度 事業報告

(自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日

法人の基本理念「安全・信頼・継続」及び基本方針、職員行動指針を常に心がけて事業運営を進めた。

新型コロナウイルス感染症については、4年目を迎え、法律上の分類も2類から5類となったところではあるが、感染の拡大防止への対応には影響のないところであり、前年度に引き続き感染症予防対策に努めたところである。

経営面では、利用者の減少から厳しい状況が続いていた弥栄デイサービスセンターの運営について、利用者には結果として負担増となる地域密着型への変更を行ったこともあり収支状況の改善がみられた反面、弥栄苑においては退職等によるマンパワー不足を理由とし、入所受入れを中止した影響から多額の欠損金が生じることとなった。

また公益事業であるケアプランやさかについても深刻なマンパワーの不足の状態となったが、利用者の在宅生活の維持と重度化防止のため責任を果たすべく努めたところである。

事業運営に必要な人員の確保は、今後ますます厳しくなることが予想され、主に弥栄苑の経営状況の改善並びに公益事業の今後について、臨時の役員会を重ねて協議し、令和6年度以降の計画にその結果を反映したところである。

その他の事業についても経営改善に努め、法人の基本方針や老人福祉法及び介護保険法に基づき、高齢者等の心身の健康の保持及び生活の安定のため、また、要介護状態となっても尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援していかなければならない。

第1 法人本部

1 法人の概要

法人の所在地	浜田市弥栄町長安本郷442番地2	代表者氏名	理事長 串崎法之
法人認可年月日	昭和52年12月21日	設立登記年月日	昭和53年2月13日

2 法人の行う事業(令和6年3月31日現在)

	事業の種類	施設種別等	名称等	施設長等氏名	定員
社会福祉事業	第一種社会福祉事業	・養護老人ホーム ・特別養護老人ホーム	養護老人ホーム寿光苑 特別養護老人ホーム弥栄苑本館 特別養護老人ホーム弥栄苑新館	小笠原 詞 子 岩 田 真美恵 岩 田 真美恵	50名 30名 40名
	第二種社会福祉事業	・老人短期入所事業 ・老人デイサービス事業 ・老人居宅介護等事業 ・障害福祉サービス事業	弥栄福祉会 弥栄苑事業所 弥栄デイサービスセンター 弥栄ヘルパーひだまり 弥栄ヘルパー	岩 田 真美恵 金 高 哲 金 高 哲 金 高 哲	6名 18名
公益事業	居宅介護支援事業	・居宅介護支援事業	ケアプランやさか	島 田 礼 子	
	高齢者等生活支援事業	・日常生活援助事業 ・高齢者等安心生活支援事業		島 田 礼 子	
	住宅型有料老人ホームの経営	・住宅型有料老人ホーム	やさかやすらぎの家	岩 田 真美恵	6名

3 役員・評議員等の状況（令和6年3月31日現在）

役職名	氏 名	就任年月日(当初)	備考	役職名	氏 名	就任年月日(当初)
理事長	串 崎 法 之	令 5. 6. 30		評議員	伊 藤 晴 子	平 14. 3. 19
理 事	石 橋 正 夫	平 14. 7. 22		〃	王 子 幸 子	平 14. 3. 19
〃	岩 田 真美恵	令 5. 6. 30		〃	串 崎 利 行	平 26. 3. 19
〃	小笠原 詞 子	令 元. 6. 27		〃	栗 栖 卓 三	平 18. 3. 19
〃	太 田 奈緒美	令 3. 6. 29		〃	古 賀 五 之	平 14. 3. 19
〃	徳 田 マスエ	平 19. 4. 1		〃	日 原 政 春	平 28. 3. 19
監 事	宅 和 保 信	平 22. 6. 1		〃	三 浦 正 明	平 29. 4. 1
〃	賀 戸 ひとみ	令 3. 6. 29				

※ 理事・監事の任期は令和7年の定時評議員会まで

※ 評議員の任期は令和7年の定時評議員会まで

4 理事会開催状況

開催年月日	主 な 議 事 等
5. 6. 15	○ 専決事項の報告 報告事項 ・職員採用 ・令和4年度予算の予備費使用 ・寿光苑入所者からの寄付金受贈 ○ 議案審議 ・ 令和4年度弥栄福祉社会事業報告(社会福祉事業)について ・ 令和4年度弥栄福祉社会事業報告(公益事業)について ・ 令和4年度弥栄福祉社会社会福祉事業計算関係書類、財産目録の承認について ・ 令和4年度弥栄福祉社会公益事業計算関係書類、財産目録の承認について ・ 令和5年度社会福祉事業区分第1次補正予算における積立金の取崩について ・ 令和5年度社会福祉事業区分第1次補正予算について ・ 定款の変更について ・ 役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規則の一部改正について ・ 定時評議員会の開催について ○ その他 ・ 弥栄苑入所者の薬剤取扱薬局の状況報告。役員改選を踏まえた次回理事会の日程
5. 6. 20	○ 議案審議 ・ 次期役員候補者案について
5. 6. 30	○ 議案審議 ・ 理事長の選定について
5. 10. 12	○ 専決事項の報告 報告事項 ・第三者委員の委嘱 ・規程の改正 ・職員採用 ・締結した契約 ○ 議案審議 ・ 借入金の繰上償還について ・ 令和5年度社会福祉事業区分第2次補正予算における積立金の取崩について ・ 令和5年度社会福祉事業区分第2次補正予算について ・ ケアプランやさか運営規程の一部改正について ○ その他 ・ 弥栄苑の状況と今後について

5. 12. 21	○ 専決事項の報告 報告事項 ・内規の制定、規程の改正 ・ 職員採用 ・ 締結した契約 ○ 議案審議 ・ 職員の給与に関する規則の一部改正について ・ パートタイム労働者等の給与に関する規程の一部改正について ・ 令和5年度社会福祉事業区分第3次補正予算における積立金の取崩について ・ 令和5年度社会福祉事業区分第3次補正予算について ・ 令和5年度公益事業区分第1次補正予算について ・ 弥栄福祉会パートタイム労働者就業規則の一部改正について ・ 寿光苑食事サービス提供業務委託契約締結の承認について ・ 弥栄苑及び弥栄デイサービスセンターの食事サービス提供業務委託契約の更新について ○ その他 ・ 弥栄苑入所者の薬剤取扱薬局の状況報告。ケアプランやさかの今後について。弥栄福祉会職員の状況と今後の事業について
6. 3. 29	○ 専決事項の報告 報告事項 ・ 職員採用 ・ 締結した契約 ○ 議案審議 ・ 令和5年度社会福祉事業区分第4次補正予算における積立金の積立並びに取崩額の変更について ・ 令和5年度社会福祉事業区分第4次補正予算について ・ 令和5年度公益事業区分第2次補正予算について ・ 弥栄福祉会パートタイム労働者等退職金規程の一部改正について ・ 指定介護老人福祉施設特別養護老人ホーム弥栄苑本館運営規則の一部改正について ・ 指定介護老人福祉施設特別養護老人ホーム弥栄苑新館運営規則の一部改正について ・ 弥栄ヘルパーひだまり運営規程の一部改正について ・ 弥栄デイサービスセンター運営規程の一部改正について ・ 弥栄福祉会弥栄苑事業所運営規程の一部改正について ・ 弥栄福祉会高齢者等生活支援事業実施規程の一部改正について ・ 令和6年度弥栄福祉会事業計画について(社会福祉事業) ・ 令和6年度弥栄福祉会事業計画について(公益事業) ・ 令和6年度社会福祉事業区分予算における積立金の取崩について ・ 令和6年度公益事業区分予算における積立金の取崩について ・ 令和6年度社会福祉事業区分予算について ・ 令和6年度公益事業区分予算について ・ 弥栄福祉会指定障害福祉サービス事業(居宅介護及び同行援護)運営規程の一部改正について ・ 弥栄福祉会無期雇用契約職員就業規則の一部改正について ・ 弥栄福祉会パートタイム労働者就業規則の一部改正について ・ 弥栄苑及び弥栄デイサービスセンターの食事サービス提供業務委託契約の変更について

5 評議員会（評議員を対象とした説明会を含む）開催状況

開催年月日	主 な 議 事 等
5. 6. 30	○ 報告事項 ・ 令和4年度弥栄福祉会事業報告 ○ 決議事項

	・ 理事及び監事の選任について ・ 令和4年度計算及び財産目録の承認について ・ 定款の変更について ・ 役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規則の一部改正について
6. 3. 25	○ 令和6年度事業及び令和5年度事業状況の説明会 ・ 公益事業の今後について ・ マンパワー不足と事業への影響について(令和5年度決算見込等)

6 監事監査状況

開催年月日	監 査 内 容
5. 5. 22 29 30	令和4年度決算監査 法人本部、第1種社会福祉事業(寿光苑・弥栄苑)、第2種社会福祉事業、公益事業
5. 11. 21 22	令和5年4月～令和5年9月定期監事監査 法人本部、第1種社会福祉事業(寿光苑・弥栄苑)、第2種社会福祉事業、公益事業

7 役員協議会等

開催年月日	内 容
6. 1. 16	役員協議会 ○ 協議議題 ・ 公益事業の今後について。弥栄苑の今後(新館定員)について
6. 2. 29	新年度事業説明会(理事、監事) ・ 令和6年度第1回理事会について。弥栄苑等の食事サービス提供業務委託契約について。令和6年度事業計画、予算について

計 画		実績または状況	到達度
8 役員等研修			
(1)加盟する団体等の主催する研修会等への参加	・ 経営協セミナー ・ 地域公益活動推進セミナー ・ 社会福祉法人役員セミナー ・ 社会福祉法人監事研修 ・ 人権研修(講演会)	指導監査説明会、監事研修 7/3 理事長、理事各1人、監事2人出席 公正採用選考人権啓発推進員研修 8/29 理事長出席 苦情解決研修 11/20 第三者委員1人出席	A
9 職員の確保と育成			
(1)採用計画の策定	職員状況(必要人員と年齢構成等による将来見込)による事業所、職種別の採用計画を策定する。 併せて努力義務となっている定年の見直しに向けた検討を行い、採用計画に反映する。	想定外の退職、休職による補充もできない状態で採用計画の策定に至っていない。 職員不足と今後の事業規模に不確定要素が多く検討に至っていない。	B
(2)要員確保の計画・実施	要員計画に基づき、ハローワーク・福祉人材センターに加え、適切	根拠となる計画は未策定だが、事業所毎の退職等に対応し	—

		な広告媒体（新聞折込・インターネット等）の利用を検討、計画し、要員確保を行う。	た採用がなされるように計画に掲げた募集は行うも要員の完全確保に至らなかった。	
	(3) キャリアパス（職員の昇進経路を明確にすること。）と人材育成	全事業所において、次の面接等を実施する。 ・キャリア面接：5年に1回行う ・目標面接：毎年度4月～5月、2月～3月に実施する ・能力評価：12月～1月に実施する	計画のとおり事業所毎に実施	A
10 法人職員の健康管理等				
	(1) 安全衛生管理活動計画の実施	・安全衛生委員会を毎月1回開催 ・定期的な職場の巡視 ・雇入れ時の健康診断 ・定期健康診断の実施（毎年1回、夜勤対象職員は年2回） ・腰痛予防対策 ・ストレスチェック実施 ・健康相談（毎月1回事業所外で実施） ・その他安全衛生活動	・毎月開催（コロナ対応により文書回覧のみの月を含む） ・毎月1回実施 ・新規雇用全員に実施 ・8/23等で全員健診実施（夜勤対象職員は3月に実施） ・始業前及び15時の体操の実施、腰痛予防ベルトの使用 ・9月～10月にかけて実施 ・毎月1回及び希望職員の都合に合わせて随時実施 ・浜田市の行う健活プロジェクトへの参加（寿光苑）	A
	(2) 「健康宣言事業所」へのエントリー	ア 健康診断の受診・重症化防止 イ 健康管理・安全衛生 ウ 喫煙対策 エ メンタルヘルス対策	・健診受診と精検対象者の受診の徹底 ・前記項目の実施の徹底 ・分煙の徹底と禁煙外来受診の推進 ・ストレスチェック、健康相談	A
	(3) 年次有給休暇の取得	対象職員の年5日間以上の年次有給休暇取得	・各事業所で管理し、対象職員の5日以上取得全員達成	A
	(4) 子育て支援	育児・介護休業等に関する規程に基づき、育児休業を取得しやすい雇用環境の整備、相談窓口の設置、各種制度の周知、産後パパ育児（出生時育児休業）の取得促進など、子育て支援を継続して推進する。	・対象職員の把握と対象職員に対し、利用促進のための支援内容の説明、周知を行った。	A
11 法人諸事業の総合的運営				
	(1) 管理者会の開催	事業所の管理者等で構成する管理者会を毎月1回開催し、円滑な事業運営のための状況把握と、運	・計画のとおり実施	A

		営にかかる課題等の協議を行う。		
12 事業経営の透明性の推進				
(1) 情報公開	・ 事業報告・決算資料（財務諸表）など、事務所窓口で公開 ・ 事業経営状況のホームページ等による公表	・ 法人本部窓口直近5年分を設置、公開 ・ 当法人ホームページ、独立行政法人福祉医療機構の電子開示システムにおいて公表	A	
(2) 広報誌の発行	・ 「寿だより」、「ひだまり」の発行	・ 寿だより年2回、ひだまり年3回発行	A	
13 地域における公益的な取り組み				
(1) 地域貢献活動	社会福祉法人は、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料又は低額な料金を、福祉サービスを積極的に提供しよう努めなければならない。このことを踏まえ、次の事業を継続のほか実施事業の検討を行う。 既存の公益事業の継続 弥栄診療所の環境維持活動（草刈等）への参加・協力など	・ 既存の公益事業の継続については職員不足のため対象を縮小して実施 ・ 弥栄診療所草刈活動協力	B	
(2) 浜田市社会福祉法人ネットワーク連絡会	浜田市内22法人の会員法人とともに、広域的な社会福祉法人の連携・協働による地域公益活動へ取り組む。	・ 活動検討会議への参加 ・ 「よつば相談窓口」の設置（会員法人が連携して、相談者の困りごと解決に貢献することを目的とした窓口）	A	
14 浜田市協働のまちづくりの推進				
(1) 浜田市協働のまちづくりの推進	令和3年度から施行になった「浜田市協働のまちづくり推進条例」に基づいたまちづくりへ対し、地域の事業者の立場から、まちづくり活動団体として「弥栄のみらい創造会議」の構成員及び推進委員として参画し、協力する。	・ 地区まちづくり推進委員会である「弥栄のみらい創造会議」へ委員2人の参画	A	
15 避難所としての施設利用等				
(1) 弥栄苑の活用	避難所での避難生活に特別な配慮が必要な方を対象とした「福祉避難所」は「弥栄会館」が指定されているが、設備等や受入許容量に問題が予想されるため、大災害が発生した場合には、弥栄苑は地域の自主防災組織と連携し施設を福祉避難所的な役割として協力する。	・ 大災害の発生時を想定した計画であり令和5年度は該当なし	—	

16 住宅型有料老人ホームやさかやすらぎの家の経営				
(1) 高齢者の安心・安全な生活を支援	隣接する介護保険事業所との連携により、安心・安全な生活を支援し建物の目的である地域における高齢者向けの住まいとしての役割を果たしながら安定した経営を目指す。	・計画のとおり実施 利用率は目標 83.3%に対し 84.0%	A	
17 感染症対策及び業務継続に向けた取り組みの強化				
(1) 感染症対策・業務継続に向けた取り組み	各事業所ともに感染症予防、感染症のまん延防止対策及び感染症発症時や災害時などの際の業務継続計画・マニュアルなどを作成し対応することとしているが、一層の強化を図る。	・法人本部において各事業所からの情報収集を行った。 ・全事業所分の業務継続計画の作成を完了する。	A	

※ 到達度説明 (以下、他の事業所分報告についても同じ。)

- A 計画に対し、100%以上または計画を十分に上回った状態
 B 同、80%以上 100%未満または計画を達成した状態
 C 同、50%以上 80%未満または計画をほぼ達成した状態
 D 同、50%未満または計画を大幅に下回った状態

18 職員の状況(令和6年4月1日現在)

事業所等	職員数	内 訳		令和5年4月 1日現在の職員数	備 考
		正規職員	パート職員		
法人本部	3(2)	2(2)	1	3(2)	内 寿光苑、弥栄苑 兼任、再雇用各1人
寿光苑	20(1)	11(1)	9	21(1)	内 本部兼任、再雇用各1人
弥栄苑	50(1)	33(1)	17	53	内 本部兼任1人、 再雇用5人、休職中1人
弥栄デイサービスセンター	8(3)	4(3)	4	9(2)	内 ひだまり兼任3人
弥栄ヘルパー ひだまり	9(3)	4(3)	5	9(2)	内 デイ兼任3人
ケアプラン やさか	1	1		2	
合計	※2 86(5)	※2 50(5)	※2 36	93(3)	

※1 ()内は兼務職員数

※2 兼任分の重複を除く実数

19 苦情受付内容及び解決結果

		寿光苑	弥栄苑 (本館・ 新館・短 期入所)	弥栄デイ サービス センター	弥栄ヘ ルパー ひだまり	弥栄ヘ ルパー	ケアプラ ンやさか	計
① 申 出 者	本人	0	0	0	1	0	0	1
	家族	0	0	0	1	0	1	2
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	2	0	1	3
② 内 容	設備・備品関係	0	0	0	0	0	0	0
	職員の対応	0	0	0	2	0	1	3
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	2	0	1	3
③ 結 果	即日解決	0	0	0	0	0	0	0
	数日中に解決	0	0	0	2	0	0	2
	1か月以内に解決	0	0	0	0	0	1	1
	3ヶ月以内に解決	0	0	0	0	0	0	0
	主訴確認不可	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	2	0	1	3

第2 第一種社会福祉事業

I 養護老人ホーム寿光苑

【経営】

項目	計 画	実 績	到達度
1 収入	・事務費収入対象入所率 98% ・障害者加算対象者（困難事例受け入れを月 32 名で維持 ・加算を取得する（心身機能低下防止事業、高度処遇強化事業、入居者処遇特別加算、管理費特別加算） ・養護老人ホーム職員の給与改善に向けた措置費引き上げ要請を継続	・100% ・月平均 40.5 名 ・加算取得（管理費特別加算は措置費引き上げ要請を優先するため申請せず） ・浜田圏域の施設長と浜田市と継続協議を実施	A A A A
2 支出	・光熱水費削減に向けての取り組みの継続	・デマンドコントローラーが故障したためか、契約電力 80KW から 85KW になった。	B

【重点目標】

目 標	実 績
・収入増加分、支出の削減による収支差額が生じたら、施設等整備積立、人件費積立をする。	・施設等整備積立及び人件費積立を行うことができた。
・「3 の目標」 ① ヒヤリ、ハット提出件数 月 3 件	・目標達成 ・7、9、11 月は 2 件
・事故報告で筋力低下による転倒件数が減る	・5 件（R3 年 22 件、R4 年 14 件）

【サービス提供】

項目	計 画	実 績	到達度
1 食事	・入所者の日々の状態に留意し、健康や嗜好を考慮した献立を作成する。 ・入所者参加型の山菜取りやお菓子作りを実施する。	・計画通り実施 ・計画通り実施	A A

食事の詳細 ・食事摂取基準量 1400Kcal～2000Kcal ・お菓子作り、山菜採り ・嗜好調査、残菜調査、栄養指導（集団、個人）		・栄養実績の通り ・計画通り実施 ・嗜好調査/7、8に実施 他も計画通り実施	A A A
2 排泄	・個々のアセスメントを行った上で、入所者の能力に応じた声掛け、ケア、用具の選定を行う。	・計画通り実施	A
3 入浴	・入所者の能力にあった方法で、残存機能を活かしたケアを行う。 ・入浴拒否のある入居者には入浴ができるよう働きかける。	・計画通り実施	A
・入浴頻度は、介助浴 2回/週、一般浴 3回/週（夏期はシャワー毎日）、体調不良時は清拭を行った。			
4 機能訓練	重点 身体機能が維持でき転倒を予防できる取り組みを実施する。 ・ラジオ体操・下肢機能訓練体操、パタカラ体操の継続（1日2回） ・こけぼけ（こけない、ぼけない）クラブによるボッチャ ・外部講師による音楽療法 ・介護予防教室（年2回） ・スポーツクラブ ・内職作業の取組み	・計画通り実施 ・ボッチャ導入により身体機能を維持 ・計画通り実施 ・第1回は浜田市の作業療法士、保健師、言語聴覚士・第2回はリハビリテーションカレッジ島根の作業療法士により実施 ・計画通り実施 ・計画通り実施	A A A A A A A
5 健康管理	・入所者の健康を生活の中でトータルの維持できるように取り組む。	・計画通り実施	A
・入所直後、集団生活による精神的負担が緩和できるよう定期的に精神科診療を設け、精神科医との連携を図る。 ・入所者の心身の状態を医学的、看護学的観点からケアに結び付けられるよう各職種と連携する。 ・入所者、家族の希望時、看取りに取り組む。 ・癌による緩和ケアに取り組む。 ・アドバンス・ケア・プランニング（これからの治療やケアに関する話し合い）に取り組む。		・計画通り実施 ・計画通り実施 ・計画通り実施 ・計画通り実施 ・9名実施	A A A A A

6 生活相談	・入所者、家族が満足できるような関わりを持つ。	・計画通り実施	A
・入所直後、生活になじめるような関わりを持つ。 ・入所者間でのトラブル等が解決できるような関わりをもつ。 ・自立した生活ができるような関わりをもつ。 ・家族との情報交換を密にして相談しやすい関係を作る。		・計画通り実施	A
		・計画通り実施	A
		・計画通り実施	A
		・計画通り実施	A
7 教養娯楽	・楽しみ、役割を生きがいにつなげる	・計画通り実施	A
・興味があることを聞き取りし、実現できるように支援を行う。 ・内職、スポーツクラブ、カラオケクラブ、大相撲勝敗予想、山菜採り、お菓子作り、花・野菜作り、個人の趣味（囲碁、手芸、パズル、習字、塗り絵等）を継続する。専用室での映画上映（「気分転館」と呼称）		・計画通り実施 （詳細はクラブ、行事実 施状況の通り）	A
		・計画通り実施	A
8 介護事故	・介護事故を予防できる要因を見つける。 目標 ヒヤリ、ハット月3件以上提出	・7, 9, 11月は2件、他の月は3件以上提出し事故予防を図った。	A
・事故を想定した処遇計画をたて実施する ・ヒヤリ・ハットの提出 ・リスクマネジメント研修、 ・点検・器具、設備（ナースコール作動、その他設備全般）		・計画通り実施	A
9 危機管理	・火災、震災、土砂災害、防犯、感染対応ができ、BCP（事業継続計画）が実働できるよう訓練を行う。	・BCP（事業継続計画）に沿って実施	A
・消防、震災、土砂、炊き出し、防犯訓練を実施した。 ・食中毒予防のため、入所者用冷蔵庫点検を実施した。			
10 苦情	・苦情の申出の受付、対応を行い、ケアの向上に反映する。	・計画通り実施。	A
・苦情申し出		・受付 0件	A
11 家族連携	・家族との情報交換を密にし、相談しやすい関係作りをする。	・計画通り実施	A

	・入所時、「入所のしおり」に基づき丁寧に説明をする	・新規入所3名に計画通り実施	A
	・入所者の心身の状況等について、家族へ報告、連絡、相談をし、誠意ある対応に努める	・計画通り実施	A
	・関係が希薄な家族や、連絡の取りにくい家族に対し齟齬が生じないように措置機関と連携する。	・計画通り実施	A
	・家族通信の発行、家族の集いを実施する。	・コロナ感染症予防のため、家族の集い未実施	A
12 地域連携	・地域で生活していた入所者が、入所後、孤立せず地域に参加でき、役割や生きがいを感じられるよう取り組む。	・計画通り実施	A
	・風の里との交流（輪投げ、ボッチャ）	・コロナ感染症予防のため実施できず	—
	・保育所、小中学校との交流	・計画通り実施	A
	・地域企業との内職取組み。	・計画通り実施	A

【人材育成】

1 研修

(1) 職場内研修

月	研修内容	実 績	到達度
4月	メンタルヘルスについて	12 職場内研修状況参照	A
5月	感染教育（コロナ対応）		
6月	救急対応（蜂の対応について）		
7月	手洗い		
8月	職員のメンタルヘルスについて		
9月	人権、権利擁護、後見人制度について		
10月	高齢者虐待、身体拘束、抑制について		
11月	感染教育（インフルエンザ、ノロウイルス対応）		
12月	介護技術（誤嚥）		
1月	高齢者虐待・身体拘束・抑制について		
2月	看取りについて、緩和ケアについて		
3月	リスクマネジメント（マニュアルの見直し）		

(2) 職場外研修

研修区分	計 画	実績	到達度
第1種研修	キャリアパス対応 介護支援専門員	計画通り実施 介護支援専門員は、本人都 合で受講せず	A
その他、行政及び当法人が加入の団体等が行う研修に参加した。(13 職場外研修の状況参照)			

2 プリセプターシップ

役割	研 修 内 容	実 績	到達度
プリセプター (先輩職員)	1年を通じて、自分の担当する業務、 看護、介護ケアをプリセプティととも に提供する。そのなかで看護、介護技 術アセスメント、対人関係、自己管理 の方法など、広範囲にわたってお手本 を示しながら指導を行う。また、座学 による指導を行う。	0件	
プリセプティ (新人職員)	1年を通じて、プリセプターを模範 に各種の看護・介護や業務を実践し、 フォローを受けながら、知識や技術の 定着を目指す。	0件	

3 キャリア面接

対象	実施予定期間	実 績	到達度
全職員	4月～5月	計画通り実施	A

4 目標面接

対象	実施予定期間	実 績	到達度
全職員	4月～5月、2月～3月	計画通り実施	A

5 能力評価

対象	実施予定期間	実 績	到達度
全職員	12月～1月	計画通り実施	A

【その他】

1 会議・委員会の開催

① 会議

名 称	開催計画	実 績	到達度
職員会議	1回／1ヶ月	計画通り実施	A
ケアカンファレンス	1回／1ヶ月	計画通り実施	A

② 委員会

名 称	開催計画	実 績	到達度
統括リスクマネジメント委員会	4月、7月、10月、1月	計画通り実施	A
感染食中毒予防対策委員会	4月、7月、10月、1月	計画通り実施	A
介護安全対策委員会	1回／1ヶ月	計画通り実施	A
身体拘束検討委員会	4月、8月、10月、1月	計画通り実施	A
給食委員会	1回／1ヶ月	計画通り実施	A
研修委員会	1回／1年	計画通り実施	A
防火管理委員会	6月、10月	計画通り実施	A
防災対策委員会	6月、10月	計画通り実施	A
防犯対策委員会	5月、10月	計画通り実施	A
編集委員会	6月、9月、11月	計画通り実施	A

③ 他の事業所と共催

名 称	開催計画	実 績	到達度
管理者会議	1回／1ヶ月	計画通り実施	A
看護職員会議	2～3回／1年	未実施	D
安全衛生委員会	1回／1ヶ月	計画通り実施	A

【報告資料】

1 月別入退所及び入退院状況

	月初人員	内障害者 加算人員	入退所		入院の状況	
			入所	退所	入院者実数	入院延日数
3月末	50					
4月	50	42	0	0	2	29
5月	50	41	0	1	1	19
6月	50	40	1	0	0	0
7月	50	40	0	1	2	23
8月	50	40	1	0	1	36
9月	50	41	0	0	1	44
10月	50	40	0	0	0	5
11月	50	40	0	0	2	25

12月	50	40	1	1	0	31
1月	50	41	0	0	1	9
2月	50	41	0	1	0	8
3月	50	41	0	1	2	20
月初平均	50	40.5	退所内訳 特養等転所、死亡5（内苑死亡1）			

2 措置機関別入所状況（令和6年3月31日現在）

措置(委託)者	男性	女性	計
浜田市	18	28	46
江津市	1	2	3
計	19	30	49

3 入所者要介護度等状況（令和6年3月31日現在）

	要支援		要介護					自立	内障がい者 加算対象
	1	2	1	2	3	4	5		
男性	0	0	0	0	0	0	0	19	19
女性	0	1	1	3	0	0	0	25	22
小計	0	1	1	3	0	0	0	44	41
合計	1		4					44	41

4 介護保険サービス利用状況（令和6年3月31日現在）

	訪問介護	通所介護・介護予防通所介護	福祉用具貸与 介護予防福祉用具貸与
男性	0	0	0
女性	2	2	2
計	2	2	2

5 入所者年齢階層別状況（令和6年3月31日現在）

	65歳未満	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上		計	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男性	0	3	9	6	1		19	78.4	68	97
女性	0	1	2	13	14		30	87.4	69	98
計	0	4	11	19	15		49	83.6	—	—

6 日常生活動作及び精神の状況（令和6年3月31日現在）

歩行	自立		19	着脱	自立	30	身体障害	視覚障害	0	
	杖		4		一部	7		聴覚・平衡機能障害	1	
	シルバーカー		12		全介助	13		音声・言語・咀嚼機能障害	0	
	歩行器		10	食事	自立	31		肢体不自由	6	
	車椅子		5		一部	3		内臓機能等の疾患による内部障害	2	
					全介助	1		知的障害	8	
排泄	昼間	便所	自立	32	入浴	見守り指示	15	精神障害	統合失調症	6
			一部	9		自立	16		そううつ病	0
			全介助	1		一部	13		うつ病	6
		Pトイレ	自立	6		全介助	16		神経症	2
			一部	2		見守り	5		適応障害	2
			全介助	0		自立	24		その他	1
	夜間	便所	自立	29	洗濯	一部	12	認知症	軽度	4
			一部	7		全介助	14		中度	14
			全介助	3		自立	10		重度	8
		Pトイレ	自立	6	居室掃除	一部	4		アルコール依存症	3
			一部	2		全介助	36			
			全介助	1						
		居室	全(オムツ)	2	爪切り介助		44			
		バルン		0	口腔清潔介助		8			
		はくパンツ		16	洗面全介助		3			
		尿とりパット		25	水 補		27			
		尿器		0						

※精神障害、身体障害の数値は重複記載

7 栄養実績

(単位)	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	食塩相当量 (g)
1日当たりの 平均必要量	1634	58.4	600	10.0	(上限値) 7.5
年間平均 給与栄養量	1575	57.6	599	9.7	7.4

(単位)	ビタミン A (μg)	ビタミン B ₁ (mg)	ビタミン B ₂ (mg)	ビタミン C (mg)	食物繊維 (g)
1 日当たりの 平均必要量	560	0.9	1.07	100	18
年 間 平 均 給 与 栄 養 量	632	1.38	1.08	112	12.7

※ 1 日当たりの平均必要量とは、令和 6 年 4 月 1 日時点での入所者の状況で算出した 1 人当たりの 1 日に必要な量（常食）

- ・ 入居者 50 人のうち約 10～15 人は、皿に盛りつけたものをお盆にとっていくスタイルのため、実際の献立で算出した量を摂取しているわけではない。入居者によっては食事量に極端な偏りがあり、食事の際に嫌いなものも食べるように声かけを行うなどの対策をとっているが、個々の体調や嗜好もあるため強制はしていない。
- ・ 入居者の若年者（60～70 代）が増えており、特に 80 歳以上の女性高齢者の平均必要量の値が適切ではなく体重が増加している。新年度は栄養摂取基準の細分化が必要。

8 特別食等の状況（令和 6 年 3 月 31 日現在）

種 別		人数	種 別	人数
糖尿	1,200kcal	2	塩分制限	8
	1,400kcal	4	タンパク質制限	0
	1,600～1720kcal	4	カリウム制限	0
	2400kcal	0	代替（肉、青魚禁等）	1

9 地産地消の状況

給食の安定供給に欠かせない食材の調達は、危機管理という視点からも受託事業者の重要な問題であるが、当法人の意向を理解の上、弥栄町産食材を次のとおり使用したこと。

1 年間購入額

・ 米 1,120,689 円（税込） 野菜類 334,290 円（税込）

全体割合 主食 100% 他 2.6%

10 ヒヤリ・ハット&事故報告書

（1）種類別報告件数

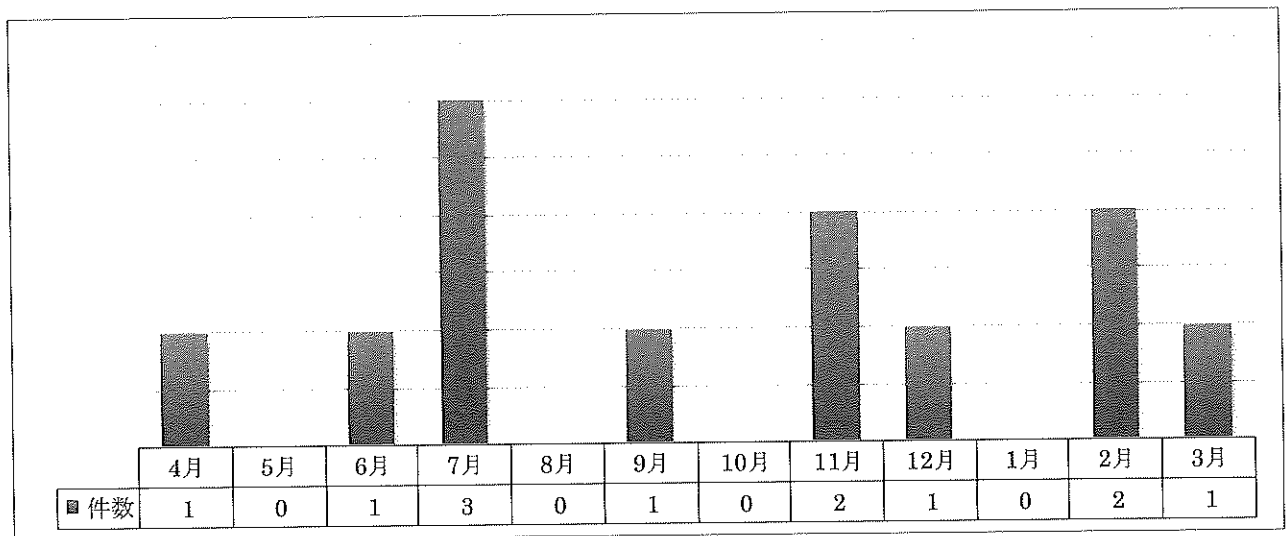
①ヒヤリ・ハット

種類	転倒	転落	誤薬	すり落ち	紛失	裂傷	打撲	離苑	その他	計
件数	15	0	0	1	0	0	0	2	17	35

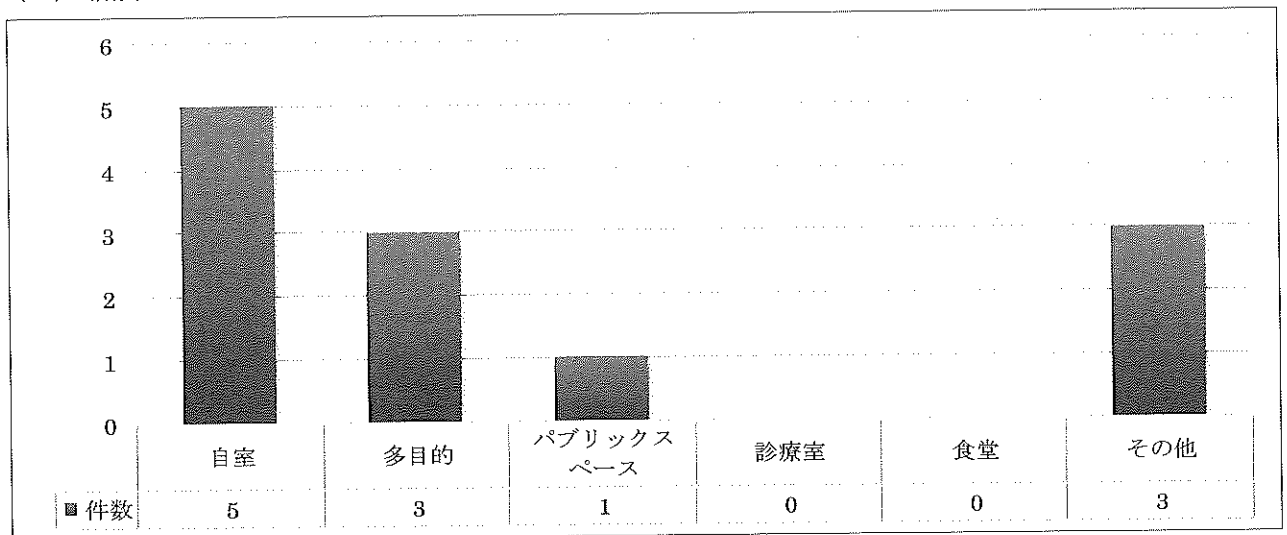
②事故

種類	転倒	転落	誤薬	すり落ち	表皮剥離	窒息	打撲	離苑	その他	計
件数	12	0	0	1	0	0	0	5	2	20

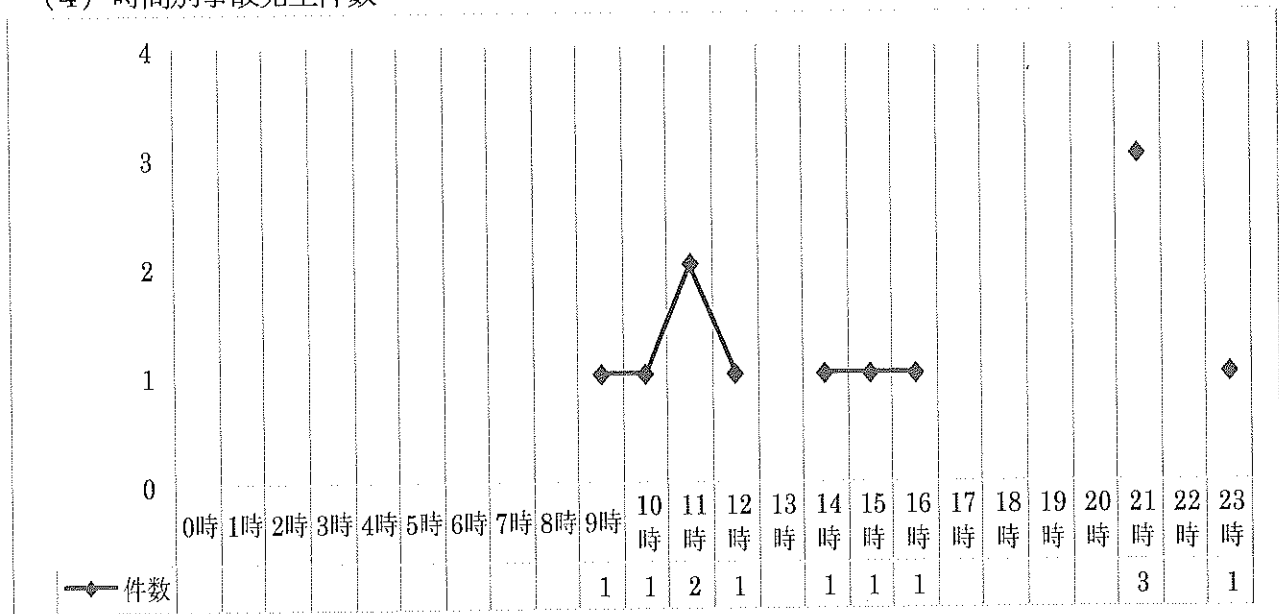
(2) 月別事故発生件数



(3) 場所別事故発生件数



(4) 時間別事故発生件数



障がい者	認知症								
	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	計
自立	2								2
J-1									0
J-2									0
A-1			1	2	1				4
A-2			1		3				4
B-1		1				1			2
B-2									0
C-1									0
C-2									0
計		2	1	2	2	4	1	0	12

〔障がい者高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）判定基準〕

（注2）以下、この基準は後述の他事業所分においても使用のため参照すること。

生活自立	ランク J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。 1. 交通機関等を利用して外出する。 2. 隣近所なら外出する。
準寝たきり	ランク A	屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出しない。 1. 介助により外出し、日中もほとんどベッドから離れて生活している。 2. 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。
寝たきり	ランク B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ。 1. 車椅子に移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。 2. 介助により車椅子に移乗する。
	ランク C	1 日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する。 1. 自力で寝返りをうつ。 2. 自力では寝返りもうたない。

〔認知症高齢者の日常生活自立度判定基準〕

ランク	判定基準	見られる症状・行動の例
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的に自立している。	
II	日常生活に支障を来す様な症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。	
IIa	家庭外で上記IIの状態が見られる。	度々道に迷うとか、買い物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等
IIb	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者との対応など一人で留守番ができない等
III	日常生活に支障を来す様な症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。	
IIIa	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	着替え、食事、排便、排尿が上手にできない、時間がかかる。やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
IIIb	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	ランクIIIaに同じ

IV	日常生活に支障を来す様な症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランクⅢaに同じ
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

<評価>

- ・ 入居者の特徴としては、認知度が高く、自立度の低下を有する方が事故を起こしている。

<今後の対策>

- ・ 転倒の多い入居者には今後も居室環境の整備等、その都度、対策を検討・実施する。
- ・ 1日に2回のラジオ体操及び下肢機能訓練、嚥下機能訓練を毎日実施しており、一定の効果が現れているため今後も継続していく。参加に消極的な入居者へも声掛けを行っていく。

11 行事実施状況

月日	行事等	月日	行事等
4月 5日	カラオケクラブ	7月 18日	音楽療法
12日	スポーツクラブ	19日	気分転館（映画）
15日	こごみ採り	21日	お取寄せ HANADA（特別食）
18日	音楽療法	25日	カラオケクラブ
19日	お取寄せ HANADA（特別食）	27日	輪投げ大会
〃	気分転館（映画）	8月 9日	お菓子作り（団子）
24日	こけぼけクラブ	〃	音楽療法
26日	輪投げ大会	16日	スポーツクラブ
5月 3日	気分転館（映画）	21日	こけぼけクラブ
10日	スポーツクラブ山菜採り（ふき）	25日	カラオケクラブ
16日	音楽療法	30日	気分転館（映画）
24日	輪投げ大会	31日	輪投げ大会
26日	カラオケクラブ	9月 13日	輪投げ大会
31日	こけぼけクラブ	19日	音楽療法、ふるさと訪問
6月 7日	まきしば採りお菓子作り	20日	スポーツクラブ
14日	スポーツクラブ	21日	こけぼけクラブ
20日	音楽療法	26日	生け花クラブ
21日	気分転館（映画）	27日	苑敬老会
26日	輪投げ大会	28日	カラオケクラブ
28日	カラオケクラブ	10月 3日	ふるさと訪問
30日	こけぼけクラブ	11日	お菓子作り（団子）
7月 7日	介護予防教室	13日	ふるさと訪問
12日	特別メニューの日、スポーツクラブ	17日	音楽療法、ふるさと訪問
14日	こけぼけクラブ	18日	スポーツクラブ

月日	行事等	月日	行事等
10月25日	輪投げ大会	1月13日	気分転館（映画）
27日	カラオケクラブ	16日	音楽療法
28日	こけぼけクラブ	19日	介護予防教室
11月8日	特別メニューの日	22日	スポーツクラブ
12日	参加型炊出し訓練	24日	輪投げ大会
14日	こけぼけクラブ	26日	こけぼけクラブ
15日	スポーツクラブ	31日	カラオケクラブ
17日	カラオケクラブ	2月6日	節分行事
20日	気分転館（映画）	7日	お取寄せ HANADA（特別食）
21日	音楽療法	〃	こけぼけクラブ
22日	輪投げ大会	14日	カラオケクラブ
29日	こけぼけクラブ	17日	気分転館（映画）
12月6日	気分転館（映画）	20日	音楽療法
13日	スポーツクラブ	26日	スポーツクラブ
15日	カラオケクラブ	28日	輪投げ大会
19日	音楽療法、Xマス会	3月8日	こけぼけクラブ
22日	こけぼけクラブ	17日	スポーツクラブ
25日	餅つき	22日	カラオケクラブ
27日	年忘れ輪投げ大会	23日	気分転館（映画）
1月5日	新年会	29日	輪投げ大会

12 職場内研修状況

開催月	研修テーマ	講師等	参加人数
4月	感染教育 震災訓練	山崎真	9
		櫻田	12
5月	防犯訓練 感染教育（コロナ対応）、措置費加算について 土砂災害訓練、炊き出し訓練	石津	13
		田中、塩田	13
		櫻田、三浦美	13
6月	消防訓練	塩田	20
8月	手洗い、アンダーマネジメント	三浦美、山崎真	6
9月	震災訓練、炊き出し訓練 成年後見人制度について	櫻田、三浦美	11
		岡山	8
10月	消防訓練 高齢者虐待について	塩田	11
		櫻田	11
11月	感染教育（コロナ対応、ノロウイルス対応） 土砂災害訓練	田中	10
		櫻田	10

	救急対応（ハチに刺された時の対応）	三浦孝巳	10
12月	介護技術（誤嚥）	杉本	9
1月	高齢者虐待、身体拘束について	小笠原沙	8
2月	看取り・緩和ケアについて 浜田市防災出前講座	小笠原詞 防災自治課	8
3月	マニュアルの見直し 防犯訓練 寿光苑診療所医療安全指針他確認	介護安全対策委員会 石津 看護師	12 8 2

13 職場外研修の状況

開催日	主催	研修・会議名	参加者	開催地
8月22日	県社協	キャリアパス（初任者コース）	杉本	浜田
4月18日 5月16日 6月20日 7月20日 8月22日 2月20日 3月19日	石見後見センタ ー	石見後見センター定例会	坂本	浜田
10月16日	県社協	労務管理研修	小笠原	浜田
10月20日	県社協	罪を犯した人の支援に携わる福祉関係者の為の 研修会 Zoom	岡山 杉本	弥栄
12月7日	県社協	高齢者虐待の防止に係る研修 Zoom	塩田	弥栄
12月19日	浜田保健所	浜田圏域感染症対策研修会	小笠原	浜田
1月31日	県社協	人権・権利擁護研修 Zoom	櫻田	弥栄

14 施設、整備関係

- ・ 公用車、冷凍庫、食器乾燥機各1台

15 地域貢献等

- ・ 春、秋の交通安全街頭指導（5/16、9/29）
- ・ 子供110番指定施設
- ・ まちかど救急施設
- ・ どんちっちSOSネットワーク事業への参加
- ・ 地域ケア会議への参加
- ・ 浜田医療センター附属看護学校の実習受け入れ（12/12～3/6）

Ⅱ 指定介護老人福祉施設特別養護老人ホーム弥栄苑 本館

【經 宮】

項目	計 画	実 績	到達度
収 入	・ 毎月の入所稼働率 98.0 パーセントを目指す。 ・ 業務の効率化を勧める。 ・ 感染の予防に努める。	・ 入所稼働率 98.0% ・ タブレットでの記録を導入し効率化を勧めた。 ・ 感染症予防の研修や啓発を適宜実施した。	A
・ 入所定員：30 床			
重点目標	・ 記録の電子化を計画的に進め業務の省力化を図る。 ・ LIFE（科学的介護情報システム）の活用を進める。 ・ 入居者の口腔衛生管理と嚥下機能の維持のため職員研修を行う。 ・ 栄養ケア・マネジメントを行い入居者の健康管理に努める。 ・ 看取り介護の充実を図り、入居者・家族等の協力を得て看取り介護加算の取得につなげる。 ・ 前年度の反省から、感染症予防対策を一層強化し、全職員が感染症の初動対応ができるようにする。 ・ 経費節減に向けて取り組む。	・ タブレット入力を 12 月から開始。電子化の問題点等は、プロジェクトチームでの協議や、他施設に確認し進めることができた。 ・ LIFE の活用は、研修に参加し活用項目の入力を勧めた。 ・ 口腔衛生管理と嚥下機能について、外部講師による指導を定期的に行い知識向上につながった。 ・ 全入居者の栄養計画を作成、実施できた。 ・ 看取り介護加算は 1 件 ・ 感染症の予防に努め、感染症の発症はなかった。 ・ 節電に取り組み、電気代は前年度より 225 万、ガス代 81 万が削減できた。	A A A A A A A

【サービス提供】

項目	計 画	実 績	到達度
1. 食事	・ 入所者個々の栄養ケア・マネジメントを行い、状態にあった食事を提供する。	・ 全入所者の栄養スクリーニング、アセスメント、栄養計画を作成。状態に応じた食事を提供。	A
2. 排泄	・ 身体能力に応じた排泄を支援する。	・ 棟内で検討し、適した介助方法を支援した。	A
3. 入浴	・ 身体の清潔保持のための快適な入浴を提供する。	・ 状態に応じた、入浴を検討し提供した。	A

4. 機能訓練	- 嚥下機能維持のため口腔衛生管理と、日常生活の中で動作訓練を行う。 - 楽しみ、意欲を持ちながら訓練する場を持つ。	- 歯科医師・言語聴覚士の指導を受け、得た知識を介助に活かすことができた。 - 棟活動を提供し、発語や笑顔を引き出すことができた。	A A
5. 健康管理	入所者の既往歴、服薬情報等を嘱託医等と共有し、日々の健康管理を行う。	既往歴、服薬情報は各職種で情報共有に努めた。また、嘱託医と連携し家族の相談・病状説明を行った。	A
6. 相談及び援助	- 入所者の心身の状況、適切な生活環境の把握 - 入所者、家族に常時必要な相談及び援助を行う	- 会議等を通じて、心身の状態等を他職種で共有し、適切な支援に努めた。 - 相談内容を他職種で協議し適宜援助につなげている。	A
7. 社会生活上の便宜の提供	- 入所者が充実した日常生活を送ることへの支援 - 入所者と家族との連携及び入所者とその家族との交流支援 - 入所者の外出の機会を確保 - 入所者が必要とする、証明等の交付申請などの代行	- ふれあいタイムや行事、日々の交流等で、楽しみのある生活支援を行った。 - 面会や電話での交流支援を行った。面会では、日々の様子がわかるようにタブレットを活用し様子を見ていただいた。 - 外出行事は報告資料「本館行事」に記載。 - 適宜、代行申請の支援を行った。	A
8. 苦情対応	施設に対する意見等に真摯に対応し改善を図る。	相談受付票を活用し随時対応した。苦情は0件	A
9. 介護事故	- 事故発生防止のための危険予知訓練を行う。 - 事故が発生した場合の分析を通じた改善策の周知徹底。	- 安全委員会で実施する訓練を行った。 - 安全委員会からの報告や啓発活動等で周知を行った。 浜田地区広域行政組合への報告件数4件	A
10. 危機管理	感染症や災害への対応力の強化	安全委員会が実施する感染症訓練の実施や、保健所主催の標準予防策の研修に参加し、対応力の強化に努めた。	A
11. 地域との連	施設が地域に開かれたものとして運営できるよう、地	泥おとし・田ばやし・子供神輿見物など施設外の行	A

携	域との繋がりを持つ。	事に参加。施設内の訪問は、よさこい・神楽訪問等、地域との交流が実施できた。 ・浜田地区広域行政組合が実施する介護相談員の訪問で意見をいただきサービスの質の向上に繋がった。	
---	------------	--	--

【人材育成】

1 施設内研修、施設外研修についての詳細は、報告資料 13 に記載

2 目標面接

対象	実施期間	到達度
全職員	6月～7月 / 1月	A

3 能力評価

対象	実施期間	到達度
全職員	12月	A

【その他】

1 会議・委員会の開催（弥栄苑新館との共通開催）

(2) 会議

名称	所掌事項等	実績	到達度
主副者会議	施設運営、職員の内部異動、処遇改善、職員研修、職場環境の改善に関すること、その他、入所（居）者の処遇改善に関すること 新型の感染症のリスクについて検討する	・ 管理者会議等の前後に開催。所掌事項の検討・情報共有を行い、今年度は、新館の運営について協議した。	A
リーダー会議	各棟の取組や問題点の検討、各棟間の情報交換、施設全体のサービスの均等化、各委員会の取組み状況の把握、その他、入所（居）者の処遇改善に関すること 新型の感染症の対応について検討する	・ 事業の運営状況などの確認し、特に新館の業務や勤務等を検討し、職員の意欲が低下しないように努めた。 (12回/年)	A
棟会議	棟の目標設定と反省、入所（居）者の処遇に関する事項（QOL向上に向けた意見交換とケアの統一）、その他、棟運営に関すること	・ 施設の運営状況の確認や、新館の状況や業務について協議した。 ・ 入所（居）者の処遇は毎月協議した。 (12回/年)	A
サービス担当者	施設サービス計画書の評価と新	・ 提供したサービスの	A

会議	プランの作成など、施設サービス計画に関すること	評価・見直しを定期的 に実施。ADL、家族・入 所（居）者の意向を踏ま えて施設サービス計画書 を作成。他職種で情報 共有を図った。	
全体会議	処遇、サービスの改善に関する こと、職場環境の改善に関する こと（意見交換）、緊急に徹底 する必要がある場合（苦情、 事故発生時等）、その他、 全体で協議を行うことが必要 な場合	・ 開催はなし	

(2) 委員会

名 称	所掌事項	実績	到達度
安全委員会	・ 指針・マニュアル、事故報告書等の整備 ・ 事故報告書・ヒヤリハット報告書の分析及び改善策の検討 ・ 改善策の周知徹底について ・ 入所（居）者及び職員の安全対策について ・ 職員の安全衛生対策について ・ 苦情処理及び紛争対策について	・ 報告書等を整備し、各棟に配布した。 ・ 事故分析を9月、3月に実施・評価を行った。 ・ 委員会や棟会議で協議、書面にて周知した。 ・ 年4回の危険予知活動や福祉用具の物品点検を計画通り実施した。 ・ 安全衛生委員会と連携して、動画によるメンタルヘルス研修と外部講師による腰痛予防研修を実施した。 ・ 事故報告時の家族への伝え方や信頼関係の構築に努めた。	A
感染症対策委員会	・ 指針マニュアルの見直し・整備 ・ 感染症の予防及びまん延防止のための対策を検討（訓練（シミュレーション）の内容等） ・ 感染症物品の整備	・ 委員会を通して指針の確認を行った。 ・ 初期対応の物品準備訓練、ガウンテクニックを実施した。 ・ 写真での手順書を作成し、理解しやすいものにした。	A
サービス向上検討委員会	・ 身体拘束の廃止に関すること ・ 虐待防止に関すること ・ サービスの質の向上に関すること	・ 委員会の開催4回研修を2回実施 ・ 委員会の開催2回研修を2回実施 ・ 介護技術研修として言	A

	・安全・快適な職場環境づくりに関すること ・職員研修に関すること ・身体拘束等適正化・虐待防止の会議の開催	語聴覚士を講師に招き年4回指導と、田中歯科の先生の研修を年2回開催した。 ・声かけ運動をすることで、挨拶や言葉遣いなどの自己の振り返りができた。 ・アンガーマネジメントや職員間のコミュニケーションについて研修を実施した。	
入所(居)検討委員会	・入所(居)決定の審議に関すること ・入所(居)待機者順位名簿の調整と入所(居)決定に関すること ・その他、入所(居)検討上必要な事項	・1回開催した。	

(3) 他事業所と共催

名 称	目的等	開催	到達度
給食委員会	入所(居)者・利用者に最適な食事を提供するための協議	・毎月1回開催した。	A
防火管理委員会	施設の防火管理業務の適正な運営を図ること	・6月と10月に開催し防災について協議した。	A
環境美化委員会	施設内外の環境の保全と美化を推進すること	・毎月、棟内の環境保全・美化活動を実施した。	A
広報編集委員会	広報紙「ひだまり」の編集	・広報紙を6月、11月、2月に発行した。	A
看護職員会議	各事業所利用者の情報交換、資質向上のための疾病等の勉強会、職員の健康・衛生管理、特にメンタルヘルス対策の充実、その他、看護職として必要な事項の協議	・苑の看護師で入所(居)者の身体・健康状態等の確認や、嘱託医の指示や介護職員への指導を協議している。 ・各事業所との開催はなし。	D
管理者会議	円滑な事業運営を行う為、各事業所の運営状況の把握及び運営に係る課題の協議を行う	・1回/1ヶ月開催	A
役職者研修	組織及び役職者としての役割の理解と実践 自己のメンタル管理と自分で考える力を身につける	・1回/1ヶ月開催	A

【報告資料】

1 月別利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
入所者	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	5
退所者	1	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	5
入院者	1	1	0	1	3	2	1	3	3	1	0	0	16
退院者	0	1	0	0	2	2	0	0	2	0	0	0	7
延日数	介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護度2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護度3	120	140	150	145	139	117	104	104	117	124	116	1,500
	介護度4	337	349	330	341	341	300	310	289	279	305	290	3,781
	介護度5	428	404	420	434	419	465	496	476	485	496	464	5,483
延べ人数計	885	893	900	920	899	882	910	869	881	925	870	930	10,764
1日当り人数	29.5	28.8	30.0	29.7	29	29.4	29.4	29	28.4	29.8	30.0	30.0	29.4
入所率(%)	98.3	96.0	100.0	98.9	96.7	98.0	97.8	96.6	94.7	99.5	100.0	100.0	98.0
平均介護度	4.34	4.29	4.30	4.31	4.31	4.29	4.43	4.42	4.41	4.40	4.40	4.40	4.37
平均在所年	3.16	2.83	3	3.08	3.16	3.25	3.33	3.33	3.25	3.16	3.33	3.33	3.18

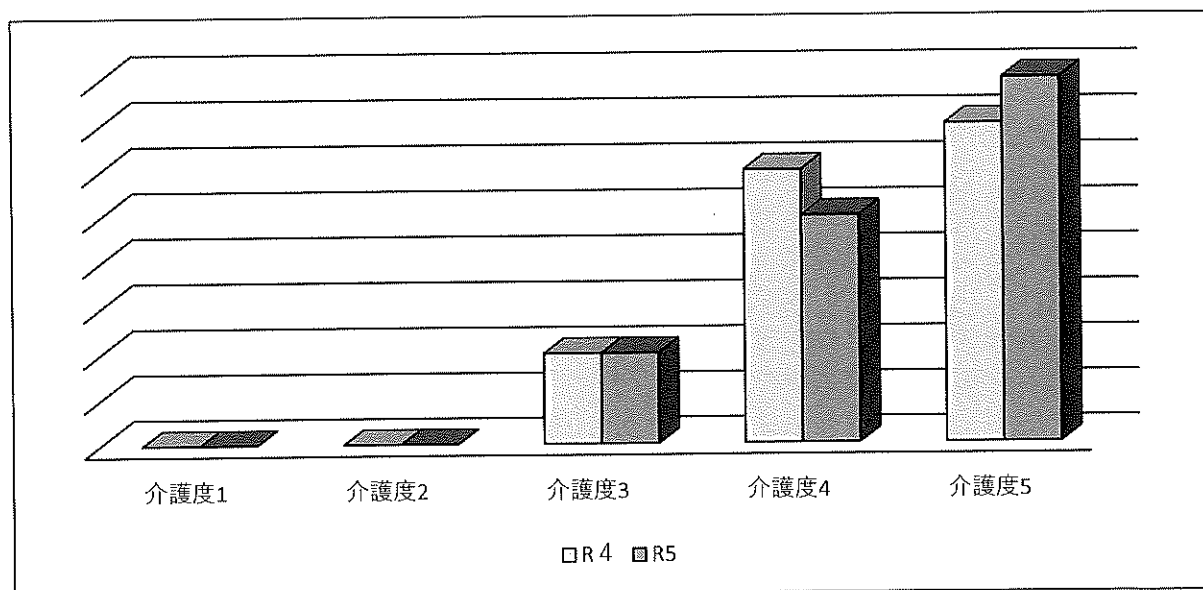
※ 入院者は月をまたいで継続している入院を含む。

2 介護度別の月末入所者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護3	R 4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	4	4
	R 5	4	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4
要介護4	R 4	15	15	15	14	14	13	11	12	12	12	12	12
	R 5	12	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10
要介護5	R 4	11	10	10	11	11	12	14	13	13	13	14	14
	R 5	14	14	14	14	14	14	16	15	16	16	16	16

(1) 介護度別の入所者数

(令和6年3月31日時点)



3 入所者のADL（日常生活動作）の状況

(令和6年3月31日現在)

区分			にじ		たいよう		合 計			
			男	女	男	女	男	女	計	
移動	自 立 歩 行		0	1	0	0	0	1	1	
	杖、歩行器使用		0	1	0	0	0	1	1	
	車椅子使用(自操)		0	2	0	0	0	2	2	
	車椅子使用(他操)		1	6	0	9	1	15	16	
	リクライニング使用		2	1	0	7	2	8	10	
食事	自 立		0	5	0	4	0	9	9	
	一 部 介 助		1	4	0	2	1	6	7	
	全 介 助		2	2	0	9	2	11	13	
	胃 ろ う		0	0	0	1	0	1	1	
入浴	自 立		0	0	0	0	0	0	0	
	一 部 介 助		0	1	0	2	0	3	3	
	全 介 助		3	10	0	14	3	24	27	
着脱	自 立		0	1	0	0	0	1	1	
	一 部 介 助		0	1	0	2	0	3	3	
	全 介 助		3	9	0	14	3	23	26	
排泄	昼間	便所	自 立	0	0	0	0	0	0	0
			一部介助	0	3	0	1	0	4	4
			全 介 助	0	2	0	2	0	4	4
		ポータブル	自 立	0	0	0	0	0	0	0
			一部介助	0	1	0	0	0	1	1
			全 介 助	0	0	0	0	0	0	0
		おむつ	全 介 助	3	5	0	13	3	18	21
	夜間	便所	自 立	0	0	0	0	0	0	0
			一部介助	0	0	0	0	0	0	0
			全 介 助	0	0	0	0	0	0	0
		ポータブル	自 立	0	0	0	0	0	0	0
			一部介助	0	4	0	1	0	5	5
			全 介 助	0	2	0	1	0	3	3
		おむつ	全 介 助	3	5	0	14	3	19	22
	バルーン留置		1	1	0	2	1	3	4	

4 認知症高齢者の日常生活自立度

(令和6年3月31日現在)

I	II a	II b	III a	III b	IV	M	合計
0	1	2	8	4	13	2	30

5 年齢階層別入所者状況（令和6年3月31日現在）

単位：人、歳

	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	100歳以上	計	年齢		平均年齢
							最高年齢	最低年齢	
男性	0	0	2	1	0	3	92	83	87.3
女性	0	1	11	14	1	27	101	75	90
合計	0	1	13	15	1	30			89.7

6 在所期間の状況（令和6年3月31日現在）

単位：人、年

	0～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年以上	平均在所期間	最長在所期間	最短在所期間
男性	0	3	0	0	0	0	1.66	1.75	1.25
女性	5	11	3	7	0	1	3.55	17.6	0.16
合計	5	14	3	7	0	1	3.35		

※ 男女合計30人の平均在所期間は3.35年、3年未満の入所者は19名で全体の63%を占める。

7 行事等の実施状況

(1) 地域行事

月 日	内 容	参加者数		備考
		対象者	家族、地域 その他	
9月6日	三隅町民生委員友愛訪問	本館 5名 新館 3名	民生委員2名	事務所前で入所者が受取り
9月11日	弥栄町民生委員友愛訪問	本館 13名 新館 10名	民生委員4名	玄関でお祝い品を受取り
10月7日	浜田よさこい連美意人訪問	本館 19名 新館 20名	地域1名	本館ホールでの踊り
10月29日	弥栄中学校神楽訪問	本館 17名 新館 21名	生徒 13名 先生 5名	短期入所4名
11月6日	弥栄中学校車椅子清掃		生徒 20名 先生 10名	入所者との交流はなし

(2) 本館行事

月	にじ棟		たいよう棟	
	内 容	人 数	内 容	人 数
4月	余暇活動	5名		
	余暇活動	5名		
	桜餅づくり ショート2名	9名		
5月	ふれあいタイム	12名	玉ねぎの収穫	2名
	いなり寿司づくり	13名	泥おとし見物	2名
	玉ねぎの収穫	1名	ふれあいタイム	8名

				ショート1名
	玉ねぎの販売	1名	自宅に戻る	1名
	夏野菜の苗植え	4名		
	旬のいちごを食べる	11名		
	泥おとし見物	2名		
6月	ベビークラステラづくり	9名 ショート1名	音楽鑑賞	8名
	テトリスで遊ぶ	4名	外気浴	3名
	ふれあいタイム	12名	梅の仕事をしよう	14名 ショート3名
7月	田ばやし	7名	田ばやし	7名
	トマトの収穫と試食	3名	七夕飾りつけ	13名
	七夕飾りつけ	14名 ショート2名	カレー作り	15名 ショート1名
	すいかを食べる	14名 ショート2名	ふれあいタイム	8名 ショート1名
8月	冷たい飲物で暑さをしのごう	14名		
	ドライブ（墓参り）	1名		
	盆団子を作ろう	2名		
	ふれあいタイム	12名		
	花づくり	3名		
9月	敬老会	13名 ショート1名	敬老会	14名 ショート1名
	町内ドライブ	4名	町内のドライブ	1名
	西の郷集落へ散歩	1名	彼岸の時期を感じよう	5名
10月	子供神輿を見に	6名	子供神輿を見に	3名
	お月見団子づくり	12名 ショート1名	干し柿作り	5名 ショート1名
	ねぎの収穫	5名		
	ふれあいタイム お茶会	11名		
	ひなたぼっこ	6名 ショート1名		
11月	さつま芋を洗う	6名	ふれあいタイム	5名 ショート1名
	焼き芋を食べる	13名 ショート1名		
	クリスマスツリー飾り	7名		
12月	クリスマス会	14名 ショート1名	クリスマス会	15名 ショート3名

	忘年会	12名 ショート1名		
	ふれあいタイム	11名		
1月	お茶会（本館合同）	11名	お茶会（本館合同）	6名
	書初め（本館合同）	8名	書初め（本館合同）	7名
			ふれあいタイム	10名
2月	豆まき	14名	苑外散歩	6名
	苑外散歩	4名		
	ふれあいタイム	12名 ショート1名		
3月	ひな祭り	12名	ふれあいタイム	10名

(3) 誕生月の食事会

各棟で、誕生日のお祝いを行い、誕生日の写真は家族通信と一緒に送った。

(4) 行事食実施状況（弥栄苑新館と共通開催）

行事食の状況	
4月	花まつり : 筍の煮しめ
5月	節句 : うなぎご飯
6月	泥落とし : ほうのきむすび、煮しめ盛り合わせ
7月	七夕 : 枝豆ご飯、そうめん
	土用丑の日 : うなとろ冷やし蕎麦、冬瓜
9月	敬老の日 : 赤飯
	敬老会 : 祝い寿司、祝いまんじゅう
10月	ハロウィン : 人参ご飯、かぼちゃサラダ
12月	クリスマス : バターライス、鶏肉の赤ワイン煮
	おおみそか : 年越しそば、くじらご飯
1月	お正月 : おせち 赤飯
	七草 : 七草がゆ
	鏡開き : 小豆粥
3月	ひなまつり : お寿司、菜の花の辛子和え、ひなまんじゅう
	彼岸 : おはぎ、あさりご飯、

(5) ボランティア受け入れ状況（弥栄苑新館と共通事項）

訪問日	個人・団体名	内容	備考
12月26日	三浦召後様 三浦勝美様	門松設置	
1月4日	三浦召後様 三浦勝美様	門松片付け	

8 嗜好調査

(1) 共通事項 (自分で答えられる方)

① 食事の内容はどうか

	にじ棟	たいよう棟
	9/13人	11/16人
ア. だいたい良い	7	7
イ. まあまあ	2	2
ウ. 良くない	0	0

② 食事の味付けはどうか

	にじ棟	たいよう棟
ア. だいたい良い	7	11
イ. 濃い	0	0
ウ. 薄い	1	0

③ 食事量はどうか

	にじ棟	たいよう棟
ア. だいたい良い	6	9
イ. ちよつと多い	1	1
ウ. 少ない	1	1

④ おかずは食べやすい大きさですか

	にじ棟	たいよう棟
ア. だいたい良い	8	10
イ. 大きい	0	0
ウ. 小さい	0	1

⑤ 一番、好きなものはなんですか

甘い物	お寿司 (いなり寿司)	まんじゅう	目玉焼き・卵	あんこ
煮物	ラーメン	すいか	特になし 2名	何でも食べる
食べたい物がわからない				

⑥ 嫌いな食べものはなんですか

肉 2名	野菜	納豆	にがい物
嫌いな物はない 10名			

⑦ 食事のことで、感じておられることはなんですか

にじ棟	・味の濃い時と薄い時があり、調整して食べています。 ・おかずの大きさが大きい時があり、自分で小さくします。 - 魚の骨がある時があり、気を付けています。 ・魚が口にあわない時がある。 ・特にない。うまいでー。 ・いつもありがとうございます。
たいよう棟	・普通でしょう。 ・良いです。 ・特になし (5名)

(2) 共通項目 (自分で答えられない方)

① 食べやすい・飲み込みが良い料理はどんな料理ですか
＜にじ棟＞

甘い物 (デザート等)	味の濃い物	何でも食べておられる。
-------------	-------	-------------

＜たいよう棟＞

甘い物	味の濃い物	何でも食べられる
-----	-------	----------

② 食べにくい・飲み込みが悪い料理はどんな料理ですか

にじ棟	・酢の物 ・野菜類 ・ミキサー粥は介助だと食べられる。 ・特になし
たいよう棟	・葉物 ・混ぜご飯 ・特になし

③ 食事のことで、感じておられることがありますか

にじ棟	・ムセがある時は無理をせず、食べられる範囲で食べられる状態が維持できれば良い。
たいよう棟	・ミキサー食で自力摂取されている。 - 時々、冷めて硬くなっている場合があるため、温めたり工夫している。

9 お楽しみ調査

	にじ棟 13/14名		たいよう棟 16/16名		全体 29/30名	
	自分で答えられる方 6名	自分で答えられない方 7名	自分で答えられる方 11名	自分で答えられない方 5名	自分で答えられる方 17名	自分で答えられない方 12名
家族、親戚の面会	4	4	11	5	15	9
食・食べること (食事・おやつ)	4	6	10	4	14	10
職員と棟の利用者 で料理をすること	0	0	1	0	1	0
お風呂に入ること	3	3	7	4	10	7
外出(散歩等)	3	1	6	2	9	3
趣味活動/折り紙 貼り絵・体操・歌・カラオケ	2	2	3	0	5	2
弥栄苑の売店 での買い物	0	0	2	0	2	0
グループで活動すること ふれあいタイム	1	2	3	0	4	2
職員・皆さんとお しゃべりをする事	2	2	7	0	9	2
未実施(入院)	1	0	0	0	1	0

※ 調査の結果は、行事に反映させた。

10 入院状況

(1) 月別入院状況 (人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
R4	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	7	0.5人
R5	1	1	0	1	3	2	1	3	3	1	0	0	16	1.3人

※ 入院理由：腎盂腎炎1名、尿路感染症1名、S字結腸の手術1名、心尖部肥大型心筋症1名、誤嚥性肺炎1名、イレウス2名、気管支喘息1名、右大腿骨転子部骨折1名、下部胆嚢癌1名

(2) 月別入院状況 (日数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
R4	18	22	0	0	0	0	25	14	0	0	17	17	113	9.4日
R5	8	30	0	10	31	18	20	26	49	4	0	0	196	16.3日

(3) オンコール件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	6

※ オンコールの内容は、看取り1件、内出血2件、血尿1件、大腿部痛1件、S字結腸捻転1件

(4) 看取りの状況 退所者5名のうち3名の看取りを行った。

1.1 ヒヤリハット・事故報告書

(1) 月別ヒヤリハット発生件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
にじ	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	5
たいよう	0	1	1	1	2	1	0	0	1	0	1	1	9
合計	0	1	1	1	2	1	1	1	2	0	2	2	14

※転倒につながるヒヤリハットが4件、ずり落ち3件、転落5件、窒息と異食が各1件

(2) 種類別事故発生件数（前年度と比較）

		転倒	転落	ずり落ち	打撲	裂傷	表皮剥離	誤嚥誤飲	誤薬	異食	離棟(徘徊)	離苑(行方不明)	骨折	しりもち	内出血	その他	合計
R4	にじ	0	3	1	0	1	3	1	1	0	0	0	0	0	4	5	19
	たいよう	0	0	1	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	4	1	10
R5	にじ	2	0	2	0	0	4	0	0	1	0	0	0	1	7	3	20
	たいよう	1	2	0	0	0	2	2	0	1	0	0	1	1	1	1	12

※ 本館は、表皮剥離・内出血の事故が多い。皮膚が弱い方で飯塚皮膚科の往診や、皮膚の保護に努めている。浜田広域行政組合への報告件数4件

1.2 研修

(1) 職場内研修（本館・新館共通開催）

月	委員会	内容	講師	実績
4月6日	安全委員会	・感染症まん延防止について①	岩田真美恵	16名
		・介護事故の指針について①	〃	16名
4月19日	サービス向上検討委員会	・身体拘束等適正化について①	岩田真美恵	14名
		・高齢者虐待防止について①	〃	14名
4月24日	安全委員会（本館）	・コロナ感染症対策5類に移行	山崎淳広	14名
4月27日	安全委員会（新館）	・ 〃	湯田ちえみ	15名

5月1日 ～14日 5月26日	安全委員会 サービス向上検討委員会	・食中毒及びまん延防止研修 ・危険予知トレーニング ・嚥下指導①	各棟安全委員 介護職員 平川智恵子	52名 36名 新館
6月8日 6月19日 6月22日 6月29日 6月29日	安全委員会 安全委員会（本館） 安全委員会（新館） サービス向上検討委員会	・コロナ感染症初動対応（物品） 〃 〃 ・口腔衛生管理研修 ・消防訓練（日中想定）	研修委員 本館研修委員 新館研修委員 田中歯科先生 岩田真美恵	14名 10名 11名 本館6名 新館9名 その他4名 本館10名 新館12名 その他8名
7月6日 7月7日 7月14日 7月29日	安全委員会 サービス向上検討委員会 サービス向上検討委員会 全体会議（安全委員会） 緊急	・感染症対策委員会開催② ・危険予知トレーニング ・身体拘束等適正化委員会② 拘束する場合の手順について ・嚥下指導② ・新型コロナウイルス対応	岩田真美恵 介護職員 岩田真美恵 平川智恵子 岩田真美恵	15名 36名 13名 本館 本館1名 新館3名 その他6名
8月3日 8月17日 8月25日	安全委員会 サービス向上検討委員会 〃	・緊急時対応訓練（心肺蘇生法） ・高齢者虐待防止研修（新館） ・高齢者虐待防止研修（本館）	安全委員会 研修委員 サービス向上委員 サービス向上委員	本館8名 新館8名 その他7名 新館11名 本館12名
9月6日 9月7日 9月15日	サービス向上検討委員会 安全委員会 サービス向上検討委員会	・高齢者虐待防止委員会② 不適切なケアチェックの集計 ・災害時業務継続研修 災害時の設備について 炊き出し訓練 ・嚥下指導③	岩田真美恵 イワタニガス 牛尾拓郎 平川智恵子	16名 本館8名 新館8名 その他7名 9名
10月4日 10月6日 10月25日 10月26日	サービス向上検討委員会 安全委員会 安全委員会 〃	・身体拘束等適正化委員会③ ＊不適切なケアチェックの集計 からアンケート作成 ・感染症対策委員会③ ・感染症・業務継続研修（新館） ガウンテクニック ・感染症・業務継続研修（本館） ガウンテクニック	岩田真美恵 牛尾泉 研修委員 研修委員	委員15名 委員16名 14名 14名

11月17日	サービス向上検討委員会	・「科学的根拠に基づいた口腔衛生を理解する」研修発表大会	研修委員	本館 11名 新館 8名 その他 5名
11月30日		・消防訓練（夜間想定）	岩田真美恵	本館 10名 新館 10名 その他 9名
12月4日	安全委員会	・標準予防策	岩田真美恵	委員 15名
12月14日	サービス向上委員会	・口腔衛生管理研修	田中雅彦	本館 8名 新館 8名 その他 5名
12月15日	リーダー会議	・看取り介護研修	岩田真美恵	14名
12月21日	サービス向上委員会	・身体拘束適正化研修（新館）	三澤興平/和田めぐみ	10名
〃	安全衛生委員会	・メンタルヘルス研修（新館）	牛尾泉/三浦裕子	20名
12月25日	安全衛生委員会	・メンタルヘルス研修（本館）	牛尾泉/佐々木真也	16名
1月10日	安全委員会	・感染症対策委員会④	委員	委員 17名
1月11日	サービス向上委員会	・身体拘束適正化委員会④	委員	委員 16名
1月25日	サービス向上委員会	・身体拘束適正化研修（本館）	盆子原美希/米花貴子	本館 9名
1月29日	安全委員会・安全衛生	・腰痛予防研修	吉川幸次郎	本館 7名 新館 13名 その他 6名

(2) 職場外研修の実施状況 (弥栄苑新館と共通)

開催日	研修会名	研修主催団体名	場所	参加者	研修の報告方法
5/13	事例検討のイメージを問い直す	浜田地域介護支援専門協会	浜田市	山崎淳広	復命
5/19	認定調査の実施について	浜田地区広域行政組合	浜田市	山崎淳広	第一種研修
6/25 ～12/24	介護職員初任者研修	株式会社グローバル	弥栄苑	幸田幹	第一種研修
6月～7月	パーセルインデックス評価研修	全国老人福祉施設協議会	弥栄苑	役職者・リーダー	資格取得
7/10	島根県老人福祉施設協議会総会	島根県老人福祉施設協議会	出雲市	岩田真美恵	
9/5 ～9/8	ユニットリーダー研修 実地研修（幸朋苑）	島根県	米子市	三澤香織	第一種研修
9/8	メンタルヘルス研修会	島根県産業保健連合会	出雲市	牛尾泉	復命

9/14 ～15	ユニットリーダー研修 オンライン講義	島根県	弥栄苑	金高宏美	第一種 研修
11/15	中国地区老人福祉施設長研修会	中国地区老人 福祉施設協議 会	松江市	岩田真美恵 岩田真由美 山崎淳広	復命
11/19 ～R6. 3. 16	介護職員初任者研修	株式会社グロ ーバル	浜田市	辻 裕紀	第一種 研修
11/19	栄養士：研修会	浜田地区栄養 士会	弥栄町	市木千代子	復命
11/23	コロナ5 類移行後の感染対策	島根感染対策 セミナー	弥栄苑	岩田真美恵	研修
11/28	施設ケアプラン研修会	浜田地区広域 行政組合	弥栄苑	高尾智子	復命
11/29	メンタルヘルス研修 一般職コース	島根県社会福 祉協議会	弥栄苑	山崎淳広	復命
12/3	防災研修	弥栄自主防災 組織	弥栄町	岩田真美恵 廣瀬賢和	
12/7	高齢者虐待の防止に係る研修会	島根県健康福 祉部高齢者福 祉課	弥栄苑	岩田真美恵 山崎美奈子 金高宏美	復命
12/8	普通救命講習Ⅰ	浜田市消防本 部	浜田市	岩田真美恵 廣瀬賢和	資格更新
12/19	標準予防策	浜田保健所	合庁	山崎淳広 岩田真由美	復命
12/21	災害炊き出し訓練	浜田市社会福 祉法法人ネッ トワーク	浜田市	岩田真由美 山崎淳広	
R6. 2/27 ～3/1	ユニットリーダー実地研修 (ゆうらく)	鳥取県	西伯郡	金高宏美	第一種 研修
3/6	島根県老人福祉施設協議会総会	島根県老人福 祉施設協議会	出雲市	岩田真美恵	
3/12	介護サービス相談員三者合同会議	浜田地区広域 行政組合	浜田市	岩田真由美 山崎淳広	
3/19	転倒災害・腰痛防止講習会	島根労働局	浜田市	牛尾泉 三浦淳子	復命

(3) 本館研修

ア. 認知症について

月	内 容	講師	実績
7月26日	認知症のケアについて (新人職員に理解ができるように)	盆子原美希	8名
9月25日	事例から：Aさんの行動について	椎木基之	9名
1月25日	認知症基本法について	佐々木真也	9名

(4) 法人研修

月	内 容	実績
7月12日	法人：ボッチャ 苑目標：スポーツを通して事業所間の交流	18名

13 苦情・相談

(1) 苦情件数 0件

(2) 相談受付件数 (本館、新館共通)

項目	内 容	件数
サービス要望	・ 面会の相談 (県外、県内) ・ 食事が食べられなくなった時の対応について ・ 共済の手続き ・ 衣類について など	14件
施設見学	・ 新型コロナウイルス感染症で問い合わせはなし	1件
入所問い合わせ	・ 申し込みの方で、空き状況の確認 ・ 入所の申し込みをしているか確認 ・ 従来型とユニット型の料金の違い ・ 胃ろうの受け入れが可能か ・ 入所の流れについて	24件
その他	・ 退所時や退所後の手続き ・ マイナンバーカードについて ・ 退所の際の住所変更について ・ 入居者の差し入れについて	16件

15 設備の改修等

項 目	内 容
購 入	・ エアーマット(自動体位交換)1台
修繕・更新	・ 低床ベッド1台 ・ 空調設備

Ⅲ 指定介護老人福祉施設特別養護老人ホーム弥栄苑 新館

【経 営】

項目	計 画	実 績	到達度
経 営	・毎月の入居稼働率 97.5 パーセントを目指す。 ・業務の効率化を勧める。 ・感染の予防に努める。	・入居稼働率 88.7% 新館の職員 1 名が 3 月末に退職。6 月に採用した職員を研修後 9 月から新館へ配置する予定であったが、本館職員 1 名の入院と 9 月末の退職があり、本館に配置した。 - また、新館職員 1 名が 8 月から療養することになり、年度当初と比較すると介護職員 2 名減。新規の受け入れができないことを管理者会議で報告し、その後、看護師 1 名を介護に配置し、施設長、事務、各職種で協力し業務を継続した。	C
	・入所定員： 40 床 ・ユニット型	・退所による空床 1,255 日 (その内 9 月からの空床は 1,185 日) ・入院による空床 394 日	
重点目標	・記録の電子化を計画的に進め業務の省力化を図る。 ・LIFE (科学的介護情報システム) の活用を進める。 ・入居者の口腔衛生管理と嚥下機能の維持のため職員研修を行う。 ・栄養ケア・マネジメントを行い入居者の健康管理に努める。 ・看取り介護の充実を図り、入居者・家族等の協力を得て看取り介護加算の取得につなげる。 ・前年度の反省から、感染症予防対策を一層強化し、全職員が感染症の初動対応ができるようにする。 ・経費節減に向けて取り組む。	・本館と同様にプロジェクトチームで勧めた。 ・本館と同様 ・本館と同様 ・本館と同様 ・看取り介護加算は 4 件 ・本館と同様 ・本館と同様。	A A A A A A A

【サービス提供】

項目	計 画	実 績	
1. 食事	・入居者個々の栄養ケア・マネジメントを行い、状態にあった食事を提供する。 ・入居者の意思を尊重しつつリビング等で交流しながら食事ができるよう支援する。	・全入居者の栄養マネジメントを開始し、個々の状態に合わせた食事を提供した。 ・各入居者の過ごしやすい場所で食事を食べていただけたよう努めた。	A
2. 排泄	・個々に適した排泄を支援する。	・羞恥心に配慮し、個々に適した排泄を支援した。	A
3. 入浴	・快適で安全な入浴を提供する。	・状態にあった入浴方法であるか棟会議で見直し快適な入浴に努めた。	A
4. 機能訓練	・ユニット活動等を通じて、楽しみをもって活動ができるよう支援する。 ・嚥下機能の維持を図る。	・ユニット活動を通して入居者の笑顔を見ることができた。 ・歯科医師や言語聴覚士の指導を受け嚥下機能の維持につながった。	A
5. 心身関係	・入居者の既往歴、服薬情報等を嘱託医等と共有し、日々の健康管理を行う。	・入居者の体調の変化や薬の変更等、棟内や他の職種間で共有できた。薬の変更による状態観察の連携もスムーズにできた。 ・口腔衛生の研修により重度の方の口腔内の清潔に努めることができた。	A
6. 相談及び援助	・入居者の心身の状況、適切な生活環境の把握。 ・入居者、家族に常時必要な相談及び援助を行う。	・カンファレンスや、職種間での情報共有し把握に努めた。 ・適宜対応し、相談受付票を使用し、内容により全職員で共有し協議・改善した。	A
7. 社会生活上便宜の提供	・入居者が充実した日常生活を送ることへの支援。 ・入居者と家族との連携及び入居者とその家族との交流支援。 ・入居者の外出の機会を確保。	・日々の発言や言動を記録に残し、困っている時等、解決できるよう取組んだ。 ・施設からの「便り」に写真を添えることで、家族より「安心できる」と返事をいただいている。 - また、面会や電話等で丁寧な説明を心がけた。 ・散歩を中心に、外出の機会	A

	・入居者が必要とする、証明等の交付申請などの代行。	を持った。 ・適宜、代行申請の支援を行った。	
8. 苦情対応	・施設に対する意見等に真摯に対応し改善を図る。	・相談受付票を活用し随時対応した。苦情は0件	A
9. 介護事故	・事故発生防止のための危険予知訓練を行う。 ・事故が発生した場合の分析を通じた改善策の周知徹底。	・本館と同様 ・安全委員会からの報告や啓発活動等で周知を行った。浜田地区広域行政組合への報告件数4件	A
10. 危機管理	・感染症や災害への対応力の強化	・本館と同様	A
11. 地域との連携	・施設が地域に開かれたものとして運営できるよう、地域との繋がりを持つ。	・泥おとし・田ばやし・子供神輿見物など施設外の行事に参加。施設内の訪問は、よさこい・神楽訪問等、地域との交流が実施できた。 ・浜田地区広域行政組合が実施する介護相談員の訪問で意見をいただき、サービスの質の向上につながった。	A

【人材育成】

1 施設内研修（本館・新館合同開催）

- (1) 職場外研修の実施状況 (弥栄苑本館と共通 本館の報告資料12 に記載)
(2) 施設内研修の実施状況 (弥栄苑本館と共通 本館の報告資料12 に記載)

2 目標面接

対象	実施期間	到達度
全職員	6月～7月 / 1月～2月	A

3 能力評価

対象	実施期間	到達度
全職員	1月～2月	A

【その他】

1 会議・委員会の開催

弥栄苑本館との共通開催（本館事業報告【その他】へ記載）

【報告資料】

1 月別利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
入居者	2	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	7
退居者	3	1	1	1	1	0	2	4	1	0	0	0	14
入院者	4	4	2	2	1	2	3	4	1	2	2	0	27
退院者	0	3	1	2	0	1	0	1	1	0	1	0	10
延 日 数	介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護度2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護度3	369	393	413	383	372	330	310	278	275	248	232	3,842
	介護度4	376	270	258	315	330	296	341	288	279	270	228	3,488
	介護度5	408	487	484	502	519	513	472	455	448	460	435	5,661
延べ人数計		1,153	1,150	1,155	1,200	1,221	1,139	1,123	1,021	1,002	978	895	12,991
1日当り人数		38.4	37.1	38.5	38.7	39.4	38.0	36.2	34.0	32.3	31.5	30.9	35.5
入所率(%)		96.1	92.7	96.3	96.8	98.5	94.9	90.6	85.1	80.8	78.9	77.2	88.7
平均介護度		4.03	4.08	4.06	4.09	4.12	4.16	4.14	4.17	4.17	4.21	4.22	4.14
平均在居年		2.03	2.41	2.41	2.5	2.50	2.58	2.58	2.66	2.83	2.91	3	2.61

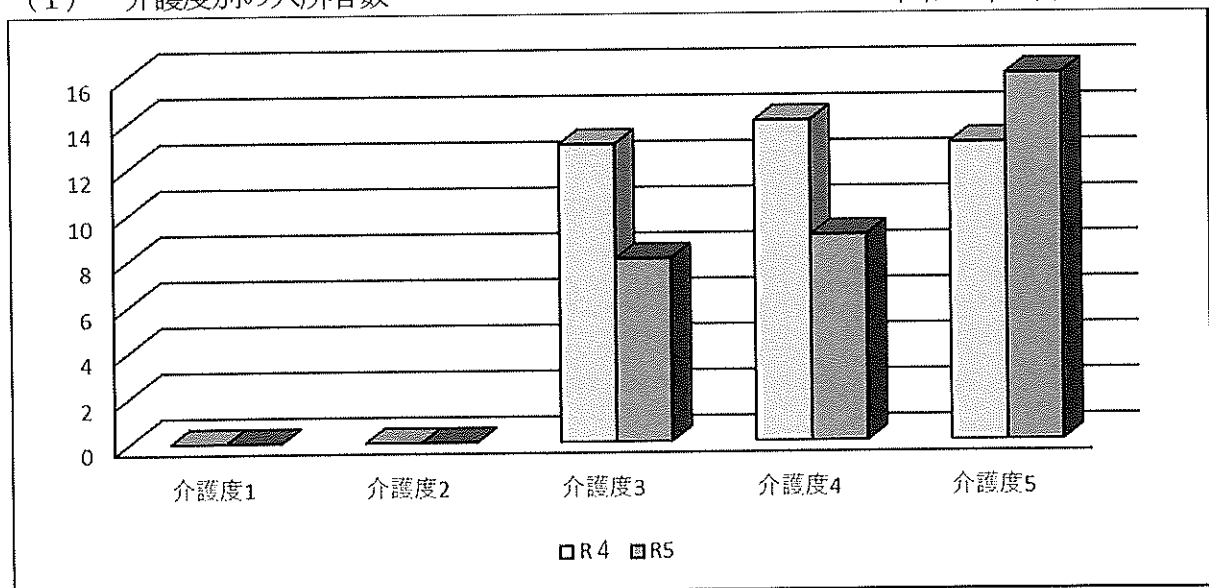
※ 4月時点で空床は1床。入院者は月をまたいで継続している入院を含む。

2 介護度別の月末入居者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護3	R4	14	15	15	15	15	13	13	13	11	12	13	13
	R5	13	13	14	13	12	11	10	9	8	8	8	8
要介護4	R4	9	7	9	10	10	10	9	9	10	13	13	14
	R5	12	10	9	11	11	10	11	9	9	9	8	9
要介護5	R4	17	17	15	15	15	17	18	18	13	11	12	13
	R5	15	17	17	16	17	18	16	16	15	15	16	16

(1) 介護度別の入所者数

令和5年3月31日時点



3 入居者のADL（日常生活動作）の状況

(令和6年3月31日現在)

区分			壱番館		弐番館		参番館		伍番館		合 計				
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計		
移動	自 立 歩 行		0	0	0	1	0	1	2	1	2	3	5		
	杖、歩行器使用		0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1		
	車椅子使用(自操)		0	0	2	0	1	1	0	1	3	2	5		
	車椅子使用(他操)		0	2	0	3	0	4	0	1	0	10	10		
	リクライニング使用		0	1	1	2	1	2	0	5	2	10	12		
食事	自 立		0	0	2	2	1	3	1	2	4	7	11		
	一 部 介 助		0	1	0	2	0	2	1	2	1	7	8		
	全 介 助		0	2	1	3	1	2	0	4	2	11	13		
	胃 ろ う		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
入浴	自 立		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	一 部 介 助		0	0	1	2	0	3	2	2	3	7	10		
	全 介 助		0	3	2	5	2	5	0	6	4	19	23		
着脱	自 立		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	一 部 介 助		0	0	0	2	0	4	2	3	2	9	11		
	全 介 助		0	3	3	5	2	4	0	5	5	17	22		
排泄	昼間	便所	自 立	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	2	
			一部介助	0	0	0	1	1	2	2	2	3	5	8	
			全介助	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	
		ポータブル	自 立	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	
			一部介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			全介助	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	2	
		おむつ	全介助	0	3	2	3	1	5	0	5	3	16	19	
		夜間	便所	自 立	0	0	0	1	0	1	0	1	0	3	3
				一部介助	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
	全介助			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ポータブル		自 立	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	2	
			一部介助	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	
			全介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	おむつ		全介助	0	3	2	4	2	7	2	6	6	20	26	
	バルーン留置			0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	2	

4 認知症高齢者の日常生活自立度状況

(令和6年3月31日現在)

I	II a	II b	III a	III b	IV	M	合 計
0	0	2	7	5	17	2	33

5 年齢階層別入居者状況（令和6年3月31日現在）

単位：人、歳

	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	100歳以上	計	年齢		平均年齢
							最高年齢	最低年齢	
男性	0	0	5	1	1	7	100	80	88.1
女性	0	1	6	19	0	26	99	79	91.7
合計	0	1	11	20	1	33			90.9

※ 90歳以上の入居者は全体の63%を占める。

6 在居期間の状況（令和6年3月31日現在）

単位：人、年

	0～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年以上	平均在居期間	最長在居期間	最短在居期間
男性	0	3	4	0	0	0	2.97	4.08	1.25
女性	5	10	5	6	0	0	2.88	7.91	0
合計	5	13	9	6	0	0	2.9		

※ 平均在居期間は2.9年、3年未満の入居者が全体の60%を占める。

7 行事等の実施状況

(1) 地域行事（弥栄苑本館と同様）

(2) ユニット行事

（あらかじめ年間計画をたて実施した行事及び、日々の意見を聴き実施した行事）

月	壺番館		貳番館		参番館		伍番館	
	内容	人数	内容	人数	内容	人数	内容	人数
4月	花見会（お茶会）	8名	おはぎ作り	4名	カップラーメン食べる	1名		
	ふれあいタイム	8名	桜餅作り	9名				
5月	フルーチェ作り	7名	ふきの皮むき	2名	塗り絵	5名	絵合わせ	4名
			ふれあいタイム	10名	つつじを見る	2名	泥落とし見学	2名
			まきを作る	4名	点つなぎ	1名		
					絵合わせ	3名		
					ごぼう体操	4名		
					鯉のぼり作り	3名		
					積み木で	3名		
6月					コケ・水草の植栽	2名		
	表札作り	1名	梅ジャム作り	2名	茶話会	7名	みんなで食べよう	6名

	蒸しパン作り	6名	七夕準備	5名	ふれあいタイム	8名		
			ちらし寿司を食べる	10名	パズル	1名		
					黒ひげゲーム	3名		
					オセロ	1名		
7月	田ばやし	4名	田ばやし	4名	田ばやし	3名	田ばやし	1名
	七夕飾り	4名	マリーゴールド苗植え	3名	七夕飾り	4名	七夕飾り作り	4名
	ゼリーを食べよう	9名	七夕会	6名	七夕会	10名		
			カップラーメン食べる	1名				
			ソーメン大会	10名				
8月	ふれあいタイム	10名	焼きそば作り	10名			すいかを食べよう	10名
	中庭まで散歩に	5名						
9月	敬老会	10名	敬老会	9名	敬老会	10名	敬老会	9名
	苑外散歩	1名	炊き込みご飯作り	1名			団子作り	6名
	苑外散歩	4名	ふれあいタイム	9名				
	お月見団子づくり	8名						
10月	子供神輿を見に	1名	子供神輿を見に	1名	子供神輿を見に	2名	子供神輿を見に	1名
	グラグラゲーム	3名	たまにはラーメン	9名	リンゴが食べたい	1名	アイスを食べる	7名
	ホットケーキ作り	3名			ふれあいタイム	9名		
11月	牛乳寒天作り	7名	余暇活動カラオケ等	5名			おいしいジュース作り	10名
	たい焼き作り	5名	さつま芋でおやつ	10名				
12月	壺・式クリスマス会	3名	クリスマス飾りつけ	10名	クリスマス会	7名	チューリップ球根植え	5名
	ふれあいタイム	3名	壺・式クリスマス会	10名			クリスマス会	10名
			ゆず風呂に入る	1名				
1月	壺・式合同新年会	2名	壺・式合同新年会	2名	新年会	10名	新年会	10名
	ふれあいタイム	2名	ふれあいタイム	10名	書初め	3名	書初め	5名

					パズル	1名	お汁粉作り	9名
					絵あわせ	1名	雪だるま	9名
					お汁粉作り	10名		
2月	壺・弐合同 節分会	2名	壺・弐合同 節分会	10名	参・伍合同 節分会	1名	参・伍合同 節分会	10名
3月	壺・弐合同 ひな祭り	2名	壺・弐合同 ひな祭り	9名	参・伍合同 ひな祭り	9名	お寿司作り	7名
					ふれあいタ イム	10名	参・伍合同 ひな祭り	9名
							ふれあいタ イム	10名

(3) 個別外出支援

外出支援では、看取りの方の外出希望があったが、自宅での環境が整わず要望に沿えなかった。

(4) 誕生月の食事会

入居者の誕生日に各番館でお祝いし、便りに写真を添え家族に送付した。

(5) 行事食

37 ページの「本館【報告資料】7. 行事等の実施状況」(4) に記載

(6) ボランティア受入れ状況

38 ページの「本館【報告資料】7. 行事等の実施状況」(5) に記載

8 嗜好調査

(1) 共通事項（自分で答えられる人）

① 食事の内容はどうか

	壺番館	弐番館	参番館	伍番館
	5/9人	8/10人	7/10人	7/10人
ア. だいたい良い	4	3	6	3
イ. まあまあ	1	4	1	3
ウ. 良くない	0	0	0	1
回答なし	0	0	0	0

② 食事の味付けはどうか

	壺番館	弐番館	参番館	伍番館
ア. だいたい良い	4	7	6	5
イ. 濃い	0	1	0	0
ウ. 薄い	1	0	1	2
回答なし	0	0	0	0

③ 食事量はどうですか

	壱番館	貳番館	参番館	伍番館
ア. だいたい良い	5	7	6	3
イ. ちょっと多い	0	1	0	2
ウ. 少ない	0	0	1	2
回答なし	0	0	0	0

④ おかずは食べやすい大きさですか

	壱番館	貳番館	参番館	伍番館
ア. だいたい良い	5	7	7	5
イ. 大きい	0	0	0	1
ウ. 小さい	0	1	0	1
回答なし	0	0	0	0

⑤ 一番好きな物はなんですか

壱番館	貳番館	参番館	伍番館
魚	おいしい物	煮しめ	甘い物
餃子	たけのこ	カレーライス	魚
カレーライス	酢の物、煮物	さしみ	肉類
	カレーライス	野菜の天ぷら	野菜
	餅、	カップラーメン(肉、味噌)	何でも食べる
	寿司、巻きずし	何でも食べる	
	ホルモン		
	サイダー、オロナミンC		

⑥ 嫌いな食べ物は何ですか

壱番館	貳番館	参番館	伍番館
肉	魚	味つけの薄い物	ない(4名)
ない(2名)	洋食系	別にない(7名)	
	酸っぱい物		
	ない(3名)		

⑦ 食事のことで、感じておられることはありますか

壱番館	貳番館
・肉 ・ない(2名)	・このご飯は、だいたいおいしい。 ・ご飯がもう少しやわらかいといい。 ・ない(4名)
参番館	伍番館
・お粥は飽きたのでご飯が食べたい。 ・刺身が食べたい。 ・刺身が食・魚がつぶしてあり喉につまる。 ・何でも食べておいしい。 ・別にない(6名)	・お粥が嫌い。少しでいいのでご飯粒が食 ・お金は同じだけ払っているのに、自分は違う物(形態)を食べているのはおかしい。 ・特になし

(自分で答えられない方)

① 食べやすい・飲み込みが良い料理はどんな料理ですか

壱番館	貳番館	参番館	伍番館
甘い物	甘い物	フルーツ類のデザート	特になし
ヨーグルトから食べる	味付けの濃い物	鶏肉料理	
なし		なし	

② 食べにくい・飲み込みが悪い料理はどんな料理ですか

壱番館	貳番館	参番館	伍番館
生クリームがかかっている物	味つけの薄い物	白身魚の料理	魚はムセが多い。
なし	酢の物	鯖料理	臭いがある物
	魚等の匂いがある物	なし	

③ 食事のことで感じておられることはありますか

壱番館	貳番館
・好き嫌いかは不明だが、食事途中で手遊びとなる ・なし	・食べることが負担となっている様に感じる。
参番館	伍番館
・魚料理は全般的に開口に影響がある。 ・ミキサーがゆるいのでトロミを足す必要がある。	・飲み込みが悪く、Kポイントを刺激して飲み込みを促している。 ・口に含み飲み込まれない場合は中止している。

9 お楽しみ調査

	壺番館 9/10名		貳番館 10/10名		参番館 10/10名		伍番館 9/10名		全体 38/40名	
	自分で答えられる方	自分で答えられない方	自分で答えられる方	自分で答えられない方	自分で答えられる方	自分で答えられない方	自分で答えられる方	自分で答えられない方	自分で答えられる方	自分で答えられない方
	5名	4名	8名	2名	7名	3名	7名	2名	27名	11名
家族、親戚の面会	1	1	3	2	5	3	3	0	12	6
食えること (食事・おやつ)	3	2	6	0	7	3	7	0	23	5
職員と棟の利用者 で料理をすること	1	1	2	0	2	0	0	0	5	1
お風呂に入ること	0	2	8	1	5	2	4	0	17	5
外出(散歩等)	0	1	4	0	4	0	3	0	11	1
趣味活動/折り紙 貼り絵・体操・歌・カラオケ	2	1	2	0	3	1	0	0	7	2
弥栄苑の売店 での買い物	1	0	2	0	2	0	1	0	6	0
グループで活動すること ふれあいタイム・クッキング	0	1	2	0	3	0	2	0	7	1
職員・皆さんとお しゃべりをする事	1	1	5	0	3	2	4	0	13	3
未実施	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0

10 入院状況

(1) 月別入院状況 (人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
R4	1	2	1	2	1	0	1	2	1	2	2	1	16	1.3人
R5	4	4	2	2	1	2	3	4	1	2	2	4	31	2.6人

※ 入院理由：誤嚥性肺炎6名、左大腿部転子部骨折2名、結石性腎盂腎炎3名、尿路感染症1名、症候性てんかん1名、ショック性肺血症1名、高カルシウム血症1名、急性胆嚢炎1名、肺血栓1名、広範性帯状疱疹1名、プレドニン内服調整1名

(2) 月別入院状況 (日数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
R4	19	11	7	9	4	0	11	25	17	31	33	31	198	16.5日
R5	27	66	35	32	11	31	52	35	17	14	33	41	394	32.8日

(3) オンコール件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3	1	0	1	1	4	0	1	0	1	0	0	12

※ オンコールの内容は、看取り 2 件、転倒 3 件、嘔吐 3 件、血中酸素濃度の低下 4 件

(4) 看取りの状況 退居者 14 名のうち 6 名の看取りを行った。

1.1 ヒヤリハット・事故報告書

(1) 月別ヒヤリハット発生件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
壱番館	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
貳番館	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
参番館	1	1	1	1	0	0	1	0	2	2	1	2	12
伍番館	1	2	0	0	0	2	1	0	0	3	1	0	10
合計	3	3	1	3	0	2	2	0	2	6	2	2	26

※ 参・伍番館は、車椅子で自走される方が多く、ヒヤリハットの件数が多い。

(2) 番館別事故発生件数

	転倒	転落	ずり落ち	打撲	裂傷	表皮剥離	誤嚥誤飲	誤薬	異食	離棟(徘徊)	離苑(行方不明)	骨折	しりもち	内出血	その他	合計
壱番館	2	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	8
貳番館	3	0	4	0	0	1	0	2	0	0	0	1	3	1	2	17
参番館	5	0	2	0	0	4	0	3	1	0	0	0	3	2	3	23
伍番館	2	0	2	0	0	4	1	0	0	0	0	0	2	1	3	15
合計	12	1	9	0	0	10	1	5	2	0	0	2	8	4	9	63
R4	7	4	8	0	3	7	0	3	3	1	1	1	5	9	10	62

※ 転倒、ずり落ち、しりもちの事故の内、10 名の入居者が 2 件の事故発生があり、1 名の方は 6 件の事故発生がある。車椅子で動けるスペースや、居室の環境を整備したが、自分のしたいようにやらせてほしいとの思いがあり、事故件数の減少につながっていない。

1.2 研 修

(1) 職場外研修 (弥栄苑本館と共通開催)

(2) 職場内研修 (弥栄苑本館と共通開催)

(3) 新館研修

ア. 認知症について

開催日	内 容	講師	参加者数
9 月 25 日	認知症勉強会 (N・H さんの事例を通して)	山崎美奈子	10 名
12 月 21 日	認知症勉強会 (動画：変装)	坂本利夫	13 名
2 月 20 日	認知症勉強会 (生活支援の方法を考える)	和田めぐみ	10 名

(4) 法人研修 (弥栄苑本館と共通開催)

1 3 苦情

(1) 苦情申出件数 0 件

(2) 相談受付表 弥栄苑本館と共通

1 5 設備の改修等

項 目	内 容
購 入	・ エアーマット(自動体位交換) 1 台
修繕・更新	・ 低床ベッド2 台 ・居室のエアコン4 台

第3 第二種社会福祉事業

I 短期入所生活介護事業、介護予防短期入所生活介護事業

【経 営】

項目	計 画	実 績	到達度
1. 収 入	・ 毎月の入所稼働率は70%を目指す。	・ 利用稼働率 62.9%	B
定員：6床			

【重点目標】

計 画	実 績	到達度
・ 重度の利用者には、バランスの摂れた食事を提供し栄養状態の改善に努める。	・ かかりつけの医師、家族に確認し、苑での食事提供について理解していただき、食事・水分量の確保に努めた。また、来苑・退苑日には体重を計り、かかりつけ医・ケアマネジャーと連携を図った。	A
・ 自立度の高い利用者には意向を確認しながら、趣味等の活動の場を提供する。	・ 喫茶担当者による、活動の場を提供。カレンダー作りや計算ドリル、季節の行事（七夕・クリスマス）の飾りつけ、調理活動の参加を促し参加していただいた。	A

【サービス提供】

- 1 弥栄苑本館入所者と同様のサービスを提供した。

【報告資料】

1 月別利用状況

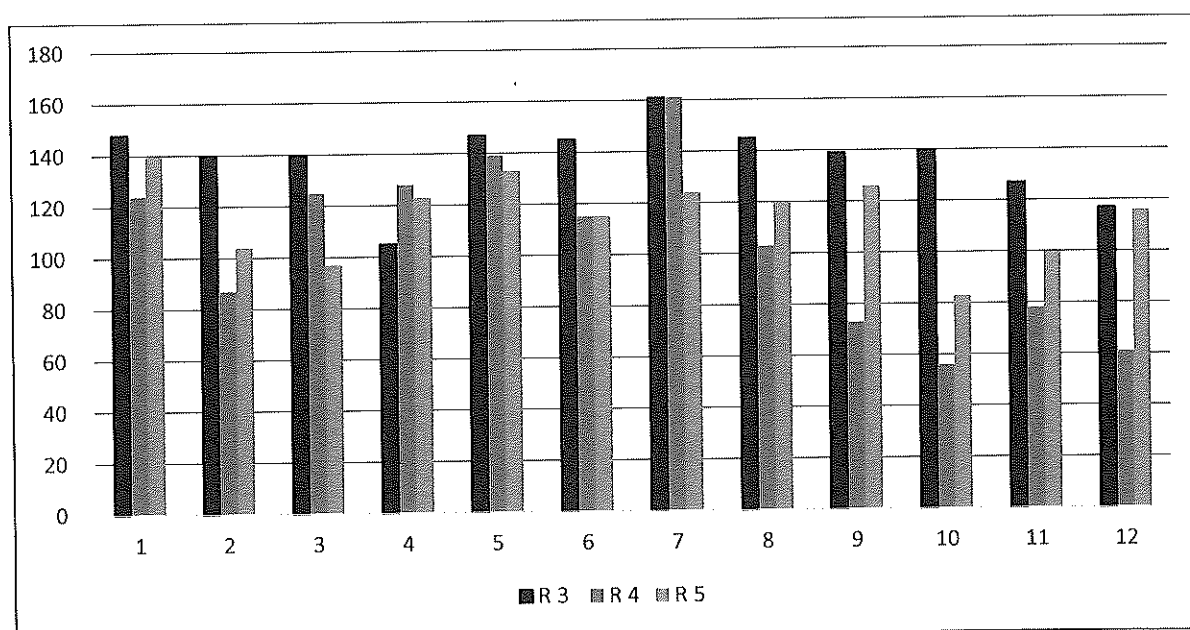
単位：人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
延 人 数	要支援1	0	0	0	0	0	4	4	4	2	2	0	16
	要支援2	31	7	5	10	0	11	6	6	8	11	16	125
	介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8
	介護度2	85	75	41	63	80	53	39	25	31	12	30	548
	介護度3	12	4	4	3	3	3	7	3	3	4	18	67
	介護度4	2	3	31	39	46	44	68	74	80	55	48	552
	介護度5	10	15	16	8	4	4	4	4	0	0	0	65
延べ人数計	140	104	97	123	133	115	124	120	126	83	100	116	1,381
1日当り人数	3.6	3.1	3.1	3.6	4.3	3.5	4.1	4	4.1	2.7	3.4	3.8	3.8
入所率(%)	77.7	55.9	53.9	66.1	71.5	63.9	68.9	66.6	67.7	44.6	57.5	62.4	52.9
平均介護度	2.42	2.56	3.23	2.92	2.80	2.99	3.32	3.51	3.43	3.61	3.22	3.31	3.09
R5 入所率(%)	68.8	46.8	69.4	68.8	74.7	63.9	70.9	57.2	39.2	30.1	46.4	62.9	75.5
R5 平均介護度	2.36	2.62	2.59	3.03	3.02	3.13	3.56	3.55	2.95	3.35	2.44	2.04	2.79

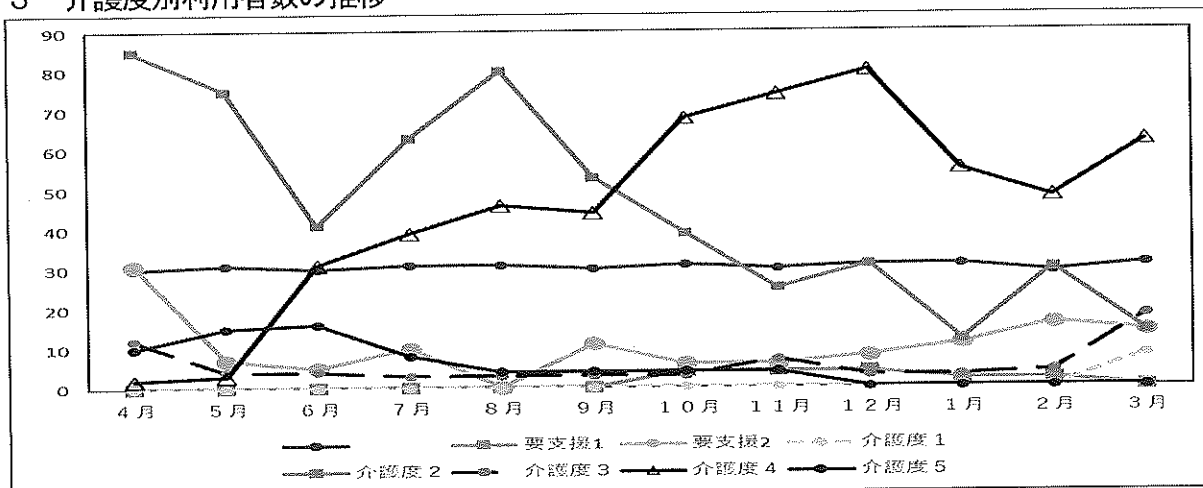
2 年度別、月別の利用状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R3	148	140	140	105	147	145	161	145	139	140	127	117	1,654
R4	124	87	125	128	139	115	161	103	73	56	78	61	1,221
R5	140	104	97	123	133	115	124	120	126	83	100	116	1,381



3 介護度別利用者数の推移



4 町内、町外別の利用状況

		利用人数(人)	利用率(%)	利用回数(回)	1回当たり平均利用日数(日)
R 3 年度	町内	1,296	78.4	95	13.6
	町外	358	21.6	31	11.5
R 4 年度	町内	804	65.8	84	9.5
	町外	417	34.2	49	8.5
R 5 年度	町内	1,081	78.7	167	6.4
	町外	300	21.7	53	5.6

※ 町内の利用1回あたりの平均利用日数は6.4日で、令和3年、4年度と比較すると、利用日数が短くなっている。

5 月別新規契約及び契約解除の状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規契約件数	1	0	2	0	0	2	1	2	0	1	0	2	11
契約解除者数	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	2	7
解除理由													
施設入所	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	4
死亡	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3

6 ヒヤリハット・事故報告

(1) 月別ヒヤリハット発生件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R 4	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
R 5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2

※ 要支援2、要介護2の利用者のヒヤリハットが各1件あった。

要支援2の利用者のヒヤリは、杖歩行の方で足がもつれたが傍にいた職員が支え転倒を予防できた。対策として杖ではなくセフティーアームを使用する。要介護2の利用者のヒヤリは、義歯を預かり洗浄の際、義歯をすぐ洗浄しなかったことから、義歯が排水溝のゴミ受けに入りわからなくなった。預かった義歯は直ぐに洗浄しケースに入れることを徹底する。

(2) 種類別事故発生状況

	転倒	転落	ずり落ち	打撲	裂傷	表皮剥離	窒息	誤薬	異食	離棟 (徘徊)	離苑 (行方不明)	骨折	しりもち	内出血	その他	合計
R4	2	0	2	0	1	1	1	3	0	0	0	0	0	1	0	11
R5	3	0	1	0	1	1	1	3	0	2	0	0	1	0	3	16

※ 事故 16 件の要介護度別の件数は、要介護 2 は 7 件 要介護 3 は 1 件、要介護 4 は 5 件、要介護 5 は 1 件、要支援 2 は 2 件。

要介護 2 の利用者の事故で、家族の迎えが来たと玄関に座っておられた離棟事故が 2 件
要介護 2 の 2 件と要介護 4 の 2 件は同じ利用者の事故で転倒 1 件、しりもち 1 件、ずり
落ち 1 件、誤薬 1 件の事故があった。この方の誤薬以外の事故について、自宅では、四
つん這いで移動されることから、移動しようと車椅子や椅子より立ち上がり事故につな
がった。

7 その他

項 目	内 容
購 入	・ポータブルトイレ、無圧マット ・リフト車 1 台

※ リフト車は、弥栄苑本館及び新館と共用

Ⅱ 弥栄デイサービスセンター（通所介護事業）

【 経営 】

項 目	目 標	実 績	到達度
1. 利用者数	・1日の登録利用者数 18 名目標 ・1日の平均利用者数 18 名目標 ・キャンセルとならないように利用日の変更を行い1ヶ月の予定利用者数を確保する。 ・地域包括支援センターやケアマネージャーと連携を密にして地域住民の情報を収集し、新規利用者の獲得を行う。	登録利用者平均 14.9 名 (3,884 名) 平均 13.4 名 (R4 平均 12.9 名) 登録数/定員数 83% 利用数/登録数 89%	B
	・町内からの利用希望は積極的に受け入れる。 ・利用キャンセルの連絡時に別曜日への案内が出来る。 ・受入予定状況を月初めに作成し、浜田市内の居宅介護支援事業所へ情報提供し、新規利用者を増やす。 ・利用キャンセルを少なくするために、利用者や家族に対して利用することにより改善される事項の周知を図る。	・新規利用者 12 名内町内 8 名 ・他サービスを利用されていない方は同週内の別曜日に案内し、1 名の方を振替利用した ・浜田市の居宅介護支援事業所から新規 5 名利用開始した ※ 以下詳細については報告資料《資料 1》に掲載	B
	【重点目標】 ・利用のキャンセルを低減する。「利用日の変更」 ・「特化日」の設定	・軽スポーツのボッチャを導入した。不定期に開催。	B
2. 経費の見直し	・利用者人数により職員の配置が決まる為、ケアが集中する時間帯に応じた職員を配置する。 ・燃料費削減の為、利用者に無理のない範囲で効率の良い送迎順とする。 ・介護職員については訪問介護事業との連携を検討する。	・入浴対応のため、午前中に優先的に配置した。	B B —

【サービス提供】

1 指定通所介護事業及び、総合事業のうちの介護予防通所介護

項 目	目 標	実 績	到達度
1. 入浴	・身体の清潔を保持する。 ・身体状況に応じた入浴を行う。入浴が出来ない場合は、手足浴、清拭を行う。	・目標通り実施	A
2. 排泄	・適切な声かけや介助を行う。 ・身体状況に応じた排泄、清潔の保持を行う。	・目標通り実施	A
3. 食事	・身体状況（咀嚼・嚥下）、嗜好状況により個々のニーズに応じた食事を提供する。	・目標通り実施	A
4. 送迎	・身体状況に応じた送迎を行う。 ・声かけや介助を行い、安全に乗り降りを行う。	・目標通り実施	A
5. 機能訓練	・食事前の「口腔体操」を行う。 ・日常生活動作訓練・運動機能訓練を行い、身体状況の維持・向上を図る。	・目標通り実施 ・食事前「口腔体操」実施。 ・弥栄にこにこ体操を継続。	A
6. 心身関係	・血圧・体温測定、身体状況の観察や健康相談の実施で疾病を早期発見し、早期治療につなげる。 ・年4回の体重測定を実施する。	・目標通り実施	A
7. 相談業務	・サービス担当者会議、ケアカンファレンスを開催する。 ・把握した状態・情報を通所介護計画書に反映。サービスの統一と最適化を図る。	・月1回のカンファレンスを行い、サービスに反映できた。	A
8. レクリエーション・アクティビティ	・グループや個人が楽しんで活動できるものを計画する。 ・認知機能の低下予防が図れるタブレットとアプリを導入し、点数等を記録し、認知機能の活性化を図る。	・意欲向上につながる様なグループ、個人活動を実施した。 ・タブレットとアプリを導入した。利用について、なかなか操作に慣れずに定着化していない。 ・ボッチャでは、得点計算や自己得点の記憶等利用者を含めて実	B

		施。	
9. 介護事故	・些細な事でも報告をするという意識を持つ。 ・事故報告を元に発生要因を分析し、再発の防止を図る。	・報告のあった事例について検討を行った。 《資料2》	A
10. 危機管理	・各種マニュアルの定期的な見直しを行い、事故を予防する事を目指す。 ・デイサービスの避難訓練（火災・地震）を実施する。 ・利用者が悪質な訪問販売や詐欺等事件に遭わないように声かけを行う。	・避難訓練 弥栄苑と合同 6月29日（日中想定でデイのみで実施） 11月30日	A
11. 苦情	・要望や意見を集約する。 ・苦情の申し出があった場合は、内容を真摯に受け止め迅速かつ、適切に対応する。	・要望に随時対応した。 苦情0件	A
12. 家族との連携	・家族との情報交換を積極的に行い、利用者の特性を把握する。	・目標通り実施	A
13. 地域との連携	・運営推進会議に活動状況を報告し、運営推進会議による評価を受けるとともに運営推進会議から必要な要望、助言を頂く。 ・地域で活動されているグループやボランティアの受け入れをする。 ・利用者の積極的な社会参加を促す為に地域行事への作品の展示を行う。 ・「生涯学習と健康福祉の集い」に参加し、利用者作品の展示や事業の紹介を行う。	・運営推進会議の開催 R5/10/26 R6/3/21 《資料3》	A
その他		実 績	到達度
1. サービスについての満足度把握	・送迎時や担当者会議において要望や意見を集約し、サービスに反映する。 ・介護相談員が集約した利用者の意見・要望を聴き、サービスに反映する。	・送迎時や担当者会議での要望意見について対応した。 ・介護相談員の受入を実施。 6/5, 8/21, 10/13, 12/7, 2/16 《資料4》	B

2 総合事業のうち、通所型サービスA2

項 目	目 標	実 績	到達度
1. レクリエーション・アクティビティ	・利用者の能力に応じ生活機能の維持向上の為に、自発的な動きが出来るように支援し、以下のプログラムを実施。 「いきいき 100 歳体操」 「口腔体操」 「食事内容の確認と栄養士による評価」 ・達成感を味わうことで心身の活性化につながるように支援する。 ・利用者の仲間つくりのために、簡単な運動やゲーム、物づくりなどに参加できるように支援する。	・目標通り実施	A
2. 交流	・外出する事により、身体的・精神的に自信が持てるように支援する。 ・利用者同士による交流が図られるように支援する。	・目標通り実施	A
3. 地域との交流	・地域行事や住民による行事への参加など社会参加につながるよう支援する。 ・悪質な訪問販売や詐欺等の事件に会わないように声かけを行う。	・目標通り実施	A
4. 相談業務	・サービス担当者会議やモニタリングなどを行うことで、通所型サービス計画書に反映でき、サービスの最適化を図る。	・目標通り実施 ・個々の希望・要望に対して随時対応した。	A
5. 介護事故	・安全なサービスの提供のために、些細な事案のヒヤリハットまたは、事故報告を行うとともに、発生要因を分析し再発防止を図る。	・目標通り実施	A
6. 危機管理	・避難訓練を行い、自身で身の安全が図られるように支援する。	・目標通り実施	A
7. 苦情満足度	・サービスに際しての要望や意見を集約する。 ・苦情の申し出があった場合は、内容を真摯に受け止め迅速、かつ適切に対応する。	・目標通り実施 ・苦情無し	A
8. 食事	・身体状況、嗜好状況により個々のニーズに応じた食事を提供する。 ・楽しみながら食事ができる雰囲気づくりを行う。	・目標通り実施 ・管理栄養士による食事アドバイス	A

9. 送迎	・安全で快適な送迎を提供する。	・目標通り実施	A
10. 心身関係	・血圧・体温測定、身体状況の観察や健康相談の実施で疾病を早期発見し、早期治療につなげる。 ・年4回の体重測定を実施する。	・目標通り実施	A

【 人材育成 】

- ・技術研修は、未開催多く参加しなかった。インターネットを利用した研修会に参加した。
 - ・法人研修はボッチャ（7/12）を実施。
 - ・キャリアアップの為に能力評価も行った。
- ※ 研修内容の詳細については《資料5》に掲載

【 その他 】

1、諸会議および委員会

（1）会議

名 称	所掌事項	開催頻度	実績	到達度
デイサービス会議	・事業運営及びサービスの改革に関する協議 ・行事計画 ・研修報告 ・施設内協議事項の報告および検討 ・職場環境に関する協議	月1回	・計画通り実施	A
防災会議	・デイサービスにおける防災に関するマニュアルの作成と見直し。	年2回	・弥栄苑防火管理委員会に参加。	A
ケアカンファレンス	・通所介護サービス計画書の評価。 ・サービス内容についての検討と周知徹底。	月1回	・計画通り実施	A

(2) 委員会

名 称	所掌事項	開催頻度	実績	到達度
事故防止委員会	・ヒヤリハット、事故報告書を元に原因分析や再発防止を検討し、実施に向け啓発を行う。 ・虐待・身体拘束や介護事故に関する研修計画を立案する。 ・運転事故に関するマニュアルの見直しをする。 ※デイサービス会議内で実施	月 1 回	・ 計画通り実施	A
感染症対策委員会	・感染症に関するマニュアルの見直し。 ・感染予防に関する研修計画を立案する。 ・感染症発生時の対応検討（随時） ※デイサービス会議内で実施	2 ヶ月に 1 回程度	・ 日常業務での消毒や、環境整備を行った。 ・ 近隣の感染情報の収集を行った。	A

(3) 他事業所との共催

名 称	所掌事項	開催頻度	実績	到達度
給食委員会	・利用者・入居者に最適な食事を提供する為の協議をする	月 1 回	・ 計画通り実施	A
防火管理委員会	・施設の適正な防火管理業務の運営を協議をする。	6月、11月	・ 計画通り実施	A
広報編集委員会	・広報紙「ひだまり」の編集に関すること	必要時	・ 計画通り実施	A
看護職員部会	・各事業所利用者の情報交換、資質向上のための疾病等の勉強会、職員の健康・衛生管理、特にメンタルヘルス対策の充実、その他、看護職員として必要な事項	年 4 回	・ 未実施	D
環境美化委員会	・施設内外の環境の保全と美化推進に関すること	必要時	・ 必要時に実施	A
サービス担当者会議	・サービス計画の評価・検討を協議する	随時	・ 必要時に実施	A
役職者研修会	・組織及び役職者としての役割の理解と実践自己のメンタル管理	月 1 回	・ 計画通り	A

	と自分で考える力を身につける		実施	
管理者会議	・円滑な事業運営を行う為、各事業所の運営状況の把握及び運営に係る課題の協議を行う	月1回	・計画通り実施	A

(4) 地域内の会議

名 称	所掌事項	開催頻度	実 績	到達度
地域ケア会議	・弥栄町内の高齢者について情報交換と支援方法の統一を協議する。	月1回	・10回参加。	A

2、職員体制

(令和6年4月1日現在)

職 名	正規職員	パート職員	合計
所長・生活相談員 (訪問と兼任)	1人(0.6)		1人
事務員	1人(0.5)		1人
生活相談員	1人(0.5)		1人
看護職員・訓練指導員		2人(1.2)	2人
生活相談員兼介護員	1人(相0.5介 0.5)		1人
介護員		2人(1.8)	2人
合計	4人	4人	8人

3、年間行事

感染症の市内発生状況や、利用者の体調を考慮しながら、外出は花見などの行事を実施した。

※ 実施行事は《資料6》に掲載

報告資料

《資料1》

1 指定通所介護、介護予防・日常生活支援総合事業

(1) 指定通所介護および介護予防通所介護の利用状況

①1日平均利用者数（目標18人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
営業日数	21日	22日	22日	22日	22日	22日	22日
要介護	196	241	257	241	211	219	258
要支援	66	74	71	74	68	67	64
計	262	315	328	315	279	286	286
1日平均人数	12.5人	14.3人	14.9人	14.3人	12.0人	13.0人	14.6人
月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
営業日数	21日	22日	21日	20日	22日	260日	
要介護	214	218	206	220	197	2,678	
要支援	64	68	62	58	68	804	
計	278	286	268	278	265	3,482	
1日平均人数	13.2人	12.6人	12.3人	13.1人	12.9人	平均13.4人	

② 年次介護別利用状況

ア（要支援）・・・総合事業従来型

	R3年度	R4年度	R5年度
要支援1	86	84	94
要支援2	1,046	945	710
合計	1,132	1,029	804

イ（要介護）

	R3年度	R4年度	R5年度
要介護1	993	640	904
要介護2	684	582	615
要介護3	467	526	567
要介護4	354	272	350
要介護5	259	230	242
合計	2,757	2,250	2,678

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業のうちの通所型サービスAの利用状況

月別利用者数

単位：人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4年度	47	32	60	33	31	34	41	46	35	26	28	46	459
R5年度	37	40	33	32	32	33	29	39	31	32	34	30	402

(3) その他、実績

① 介護度別利用登録人数 (令和6年3月31日現在)

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	支援1	支援2	事業対象者	合計
R4年度末	10人	11人	5人	3人	3人	3人	14人	6人	55人
R5年度末	12人	9人	6人	7人	1人	2人	10人	7人	55人

① 年間月別の利用者延べ人数 (要介護者、要支援者、緩和型利用者)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R3年度	403	373	371	406	366	384	411	410	426	358	310	337	4,555
R4年度	337	285	331	320	270	311	327	330	324	285	289	328	3,737
R5年度	299	355	361	347	311	319	351	317	317	300	312	295	3,884

2 地域別利用登録人数

(令和6年3月31日現在)

	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末
浜田市内	0人	2人	1人
浜田 (鍋石)	0人	0人	0人
浜田 (櫛田原)	1人	0人	0人
浜田 (田橋)	2人	2人	1人
浜田 (長見)	0人	1人	1人
三隅町	5人	5人	5人
やすらぎの家	2人	1人	1人
弥栄町	51人	44人	46人
計	61人	55人	55人

《資料2》

9. 介護事故

(1) ヒヤリハット、事故発生状況

単位：件数

種類	転倒・転落	裂傷・切傷	表皮剥離	入浴介助	対人トラブル	運転・車輛関係	その他	計
ヒヤリ	0	0	0	0	0	0	0	0
事故	5	1	3	0	0	2	4	15
合計	5	1	3	0	0	2	4	15

(2) 場所別発生状況

単位：件数

場所	ホール・昼室	浴室・脱衣場	ベッド・静養室	トイレ	送迎車内	利用者宅道路等	利用者宅玄関等	デイ玄関	計
ヒヤリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事故	5	4	1	0	0	3	2	0	15
合計	5	4	1	0	0	3	2	0	15

《資料3》

13. 地域との連携

(1) 運営推進会議の開催

- ・給食提供が、現地調理からセントラルキッチンによるクックチル方式（工場で調理し配送された食材を再加熱や和えるなど簡単な調理作業で盛付で完了する）に変更となったが、委員の方から質について満足できるものでないかもしれないが我慢しないと、と意見があった。
- ・地域芸能グループ等からの慰問訪問は無かった。

《資料4》

その他、サービスについての満足度把握

(1) 家族の要望・ご意見

- ・利用日の送迎時や、サービス担当者会議でご本人、ご家族とサービスの状況を都度確認を行った。

(2) 介護相談員からのご意見

- ・介護相談員の受入を実施。5回相談員の訪問を受け、利用者の声を聞いて頂いた。令和6年度も継続して受入を行う。

《資料5》

1. 内部研修

開催日	研修内容	講師及び担当者	参加者人数
R5/6/29	「防災、緊急時の対応について」	防火管理者	6

2. 外部研修

開催日	研修名	主催者	場所	参加者
R5/5/25	安全運転管理者講習	島根県安全運転管理者協会	石中央文化ホール	金高 哲
R5/10/21	認知症疑似体験	ケアプランやさか 弥栄発生活リハビリネット	杵束まちづくり センター	金高 哲 牛尾 良美
R6/2/1	令和5年度「人権・権利擁護研修」	島根県社会福祉協議会	Zoom	金高 哲

《資料6》

年間行事

月	利用者関係	施設および職員関係
4月	・さくら見物 (野坂) 4/1～4/7	
5月	・つつじ見物 (弥栄苑周辺) 5/1～5/6	
6月	・まきづくり 6/12～6/17 ・消防避難訓練 6/29	広報「ひだまり」の発行
7月	・七夕行事 6/24～7/7 短冊準備等	
8月	・納涼祭(涼み会) 8/7～8/12	
9月	・長寿のお祝い 9/18～9/23	
10月	・運動会 玉入れ、ドーナツ取り競争 10/16～10/21	
11月	・ホットケーキの日 11/16～11/21 ・消防避難訓練 11/30	広報「ひだまり」の発行 インフルエンザ予防接種
12月	・クリスマス行事 12/18～12/23	
1月	・お楽しみ会 神経衰弱 1/4～1/9	
2月	・節分行事 2/1～2/6	広報「ひだまり」の発行
3月	・ひな祭り行事 2/28 雛人形飾付 3/1～3/7 ひなあられ	

※ 毎月、当月生まれの誕生者の方に誕生カードを送り、お祝いをした。

《その他》

1 苦情の状況

苦情・・・0件

Ⅲ 弥栄ヘルパーひだまり（訪問介護事業） 事業報告

【経営】

項 目	目 標	実 績	到達度
訪 問 時 間	・ 1 か月あたり 510 時間 (介護事業・介護予防事業合計)	・ 月平均 527 時間 ・ 達成率 103%	A
収入の確保	・ ケアマネージャーと連携をとり、新規利用者の確保に努める ・ 訪問可能なスケジュールを把握し、相談、依頼があればすぐに対応できる体制を整える	利用可能な曜日、時間を常に把握しておき、対応に備えた。 居宅支援事業所に、新規利用者の紹介をお願いした。	A
人材の確保	・ 職員高齢化による世代交代を図るため、職員募集を行う	外部（ハローワーク等）への職員募集を行った。照会無し	B
車両更新	・ 訪問車両老朽化のため、車両の更新を行う	居宅支援との折半車両が訪問単独使用となったため更新せず。	—

1. サービス提供地域	報告資料 1 に掲載
2. 介護保険事業 (1) 指定訪問介護事業	報告資料 2 に掲載
3. 介護予防・日常生活援助事業 (1) 介護予防訪問介護 (2) 訪問型サービス A	報告資料 3 に掲載 報告資料 4 に掲載

【サービス提供】

項 目	目 標	実 績	到達度
1. サービス計画の作成	・ 利用者の状態や生活の状況を把握し、必要なサービスの提供が出来るよう計画する	計画通り実施	A
	・ サービス提供責任者の定期訪問を実施し、利用者や家族等が望む、サービスの提供が来ているか評価を行い、サービスの改善をはかる	要望を確認し改善につなげることが出来た。	

2. 状態の把握	・他の事業所（居宅介護支援事業所や訪問看護等）と連携して利用者の状態を把握する	計画通り実施 ・訪問時の状態の変化を見逃さないようにした。	A
	・利用者の体調や状態の変化があれば、サービス提供責任者や関連事業所に伝達する		
	・生活上での不安や困りごとの相談に対し、しっかり話を聞き問題点の把握に努める		
3. 身体介護	・状態に合わせて利用者の負担にならない介護が行えるように、技術向上をはかる	計画通り実施 ・利用者に合わせた対応が行えるよう、事業所内で技術の研修を行った。	A
	・羞恥心への配慮を心がけ、自尊心を傷つけないよう利用者の身になって接する		
	・残存機能を生かし、出来る事は継続して行えるよう支援を行う		
4. 生活援助	・利用者の生活歴やこだわりを理解して支援する	計画通り実施 ・会議の際に情報交換することで、サービスを統一することに努めた。	A
	・体調や病気に配慮した調理を行う		
	・利用者の有する能力が維持できるように配慮し、自立支援に向けた支援を行う		
5. 危機管理	・感染症についての知識、対応を身につける	計画通り実施 ・研修を行い、常に気をつけるよう心掛けることが出来た。	A
	・感染の媒体にならないよう、意識して行動する		
	・利用者の状態が急変した時は対応する。対応が円滑に出来るよう、マニュアルをもとに研修を行う		
	・マニュアルの見直しを行い、必要に応じ改訂する	・マニュアルの見直しが都度実施した。	A
	・利用者が訪問販売や詐欺の被害にあわないよう、必要な情報を提供し助言を行う	・訪問時に気をつけるように声掛けをした。	A
6. 苦情対応	・苦情には迅速、かつ適切に対応し、安心してサービスを継続させていただけるよう、サービスの改善をはかる	苦情 2 件	A
7. 事故防止	・ヒヤリハットの報告件数を増やす	事故報告 6 件 (車両 3 件, 誤薬 2 件, その他 1 件 ヒヤリハット 1 件)	B

	・事故、ヒヤリハット報告をもとに発生要因の分析を行い、再発防止を図る	事故発生防止委員会で対処方法を徹底した。	A
--	------------------------------------	----------------------	---

【人材育成】

一人一人が同じ意識を持ち、同レベルのサービスを提供するために、外部研修に参加する予定であった。個々の技術向上のための研修が少なく、オンライン等での研修も検討したが、目標達成の確認方法等が不明確なため実施せず。

※ 詳細については、報告資料4に掲載

【その他】

1 会議、委員会

(1) 会議

名 称	所掌事項	開催頻度	実績・到達度
ヘルパー会議	利用者への支援内容の検討と評価、研修報告、その他事業運営に関する事項の検討を行う	1回/1ヶ月	計画通り実施

(2) 委員会

名 称	所掌事項	開催頻度	実績・到達度
事故発生防止委員会	ヒヤリハット、訪問中の事故に対して原因を分析し、防止に努める	随時	計画通り実施

(3) 他事業所との共催

名 称	所掌事項	開催頻度	実績・到達度
役職者研修	組織及び役職者としての役割と実践、自己のメンタルヘルス管理と自分で考える力を身につける	1回/1ヶ月	7回参加
管理者会議	円滑な事業運営を行うため、各事業所の運営状況の把握及び運営に係る課題の協議を行う	1回/1ヶ月	計画通り参加
広報編集会議	広報「ひだまり」の編集など	3回/年	
防火管理委員会	施設の防火管理業務の適正な運営を図る	2回/年	
サービス担当者会議	サービス計画の評価と見直しの検討を行う	サービスの更新時やケアマネージャーからの依頼が	

		あったときに 参加した。	
--	--	-----------------	--

(4) 地域内の会議

名 称	所掌事項	開催頻度	実績・到達度
地域ケア会議	弥栄町内の高齢者の情報 の共有、支援に対する 目的の統一など	1回/1ヶ月	10回参加

2 職員の状況

(1) 令和6年3月31日現在

単位：人

職 名	正規職員	パート職員	合 計	備 考
所 長	1		1	通所介護事業所管理者 者兼務
サービス提供 責 任 者	2		2	訪問介護員兼務
訪 問 介 護 員		5	5	
事 務 員	1		1	他事業所と兼務
合 計	4	6	10	

(2) 上記職員のうち正規職員4名の兼任状況

職 名	人数	弥栄ヘルパーひだまり勤務				他事業所 の業務へ 従 事
		管理者	サービス提 供 責 任 者	訪 問 介 護 員	事務	
所 長	1	0.4				0.6
サービス提供 責 任 者	2		0.8(0.2)	0.2(0.3)		0.5
事 務 員	1				0.3	0.7
合 計	4	0.4	1.0	0.5	0.3	1.8

《 報告資料 》

1 サービス提供地域別利用者数

訪問地域	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末
弥栄町内	24人	25人	24人	27人
寿光苑	4人	3人	2人	2人
三隅町内	10人	22人	24人	20人
櫛田原、 田橋、横山	2人	2人	1人	0人
浜田市内	5人	5人	8人	6人
	45人	57人	59人	55人

2 指定訪問介護事業

(1) 要介護1～5の利用者訪問時間数、訪問実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4年度	528:00	482:20	488:00	427:35	417:40	430:15	455:55	456:45	436:45	403:10	415:50	495:20	5437:35
	43	42	42	41	43	45	45	43	43	41	44	42	514
5年度	413:05	459:30	497:45	473:50	446:15	437:30	442:00	446:30	468:05	409:00	392:00	383:45	5279:15
	33	33	36	35	33	33	31	31	30	31	29	28	383

※ 単位：上段は時間、下段は人数

(2) 月当たりの利用状況

(小数点以下四捨五入)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
月当たりの 平均利用人数	35人	37人	43人	32人
月当たりの 平均利用時間	392時間	361時間	453時間	440時間

(3) サービス内容別訪問時間数、延回数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体	4年度	150:30	149:00	166:30	130:50	123:10	142:15	169:55	188:35	156:45	148:30	153:50	181:50	1861:40
	5年度	151:05	183:30	207:45	193:50	167:45	174:00	178:00	184:00	176:15	175:30	185:30	167:15	2144:25
		221	266	299	276	234	243	238	241	230	233	249	221	2951

身体・生活	4年度	222:30	230:20	209:00	192:15	205:00	214:30	219:00	210:10	197:30	163:20	165:30	192:00	2421:05
	5年度	164:00	161:30	158:30	145:00	145:00	141:30	160:30	152:30	166:20	139:00	130:30	146:00	1810:20
		130	127	127	111	115	108	122	118	125	106	99	112	1400
生活	4年度	155:00	103:00	112:30	104:30	89:30	73:30	67:00	58:00	82:30	91:20	96:30	121:30	1154:50
	5年度	98:00	114:30	131:30	135:00	133:30	122:00	103:30	110:00	125:30	94:30	76:00	80:30	1324:30
		117	132	149	150	155	142	123	131	144	101	81	84	1509

※ 単位：5年度の上段は時間、5年度の下段は回数

3 指定介護予防訪問介護・総合事業（介護予防従来型・緩和型）

（1）介護予防従来型（要支援1～2）

① 利用者訪問時間数、訪問実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4年度	64:45	80:00	87:00	80:45	91:15	79:15	75:45	70:30	58:15	65:00	68:00	77:00	897:30
	12	12	13	13	13	12	11	10	10	11	11	10	139
5年度	73:00	98:00	90:00	77:00	66:00	80:00	77:00	76:00	92:15	102:00	107:00	112:00	1050:15
	11	14	11	11	9	10	10	11	14	14	14	15	146

※ 単位：上段は時間、下段は人数

② 月当たりの利用状況

（小数点以下四捨五入）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
月当たりの平均利用人数	10人	12人	12人	12人
月当たりの平均利用時間	68時間	72時間	75時間	88時間

③ サービス内容別訪問時間数、延回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問サービスⅠ	4年度	23:45	23:00	31:00	24:45	24:15	21:15	19:45	13:30	13:15	15:00	20:00	252:30
	5年度	20:00	20:00	15:00	11:00	8:00	7:00	9:00	9:00	15:15	15:00	14:00	167:15
		20	20	15	11	8	7	9	9	16	16	15	170
訪問サービスⅡ	4年度	41:00	43:00	43:00	31:00	41:00	33:00	34:00	44:00	34:00	37:00	38:00	446:00
	5年度	29:00	44:00	52:00	51:00	45:00	60:00	55:00	54:00	64:00	73:00	81:00	683:00
		29	44	52	51	45	60	55	54	64	73	81	683

訪問サービスⅢ	4年度	0:00	14:00	13:00	25:00	26:00	25:00	22:00	13:00	11:00	13:00	10:00	27:00	199:00
	5年度	24:00	34:00	23:00	15:00	13:00	13:00	13:00	13:00	13:00	14:00	12:00	13:00	200:00
		24	34	23	15	13	13	13	13	13	14	12	13	200

※ 単位：5年度の上段は時間、5年度の下段は回数

※ 訪問サービスⅠ：1月につき週1回程度の訪問

訪問サービスⅡ：1月につき週2回程度の訪問

訪問サービスⅢ：1月につき週2回を超える程度の訪問

(2) 緩和型（要支援・事業対象者）

① 訪問時間数、訪問実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4年	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5年	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 単位：上段は時間、下段は人数

② サービス内容別訪問時間数、延回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A1	4年	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
	5年	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A2	4年	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
	5年	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 単位：5年度の上段は時間、5年度の下段は回数

※ A1：1回につき45分以上60分未満

A2：1回につき20分以上45分未満

4 人材育成

(1) 施設外研修

開催日	研修名	研修内容	主催者	場所	参加者
R5/5/15, 16, 22, 23	同行援護従業者養成研修【一般課程】	資格研修	島根県 島根県社会福祉協議会	浜田	小川
R5/8/29	同行援護従業者養成研修【応用課程】	資格研修	島根県 島根県社会福祉協議会	松江	小川
R6/2/1	人権・権利擁護研修	高齢者虐待防止研修	島根県社会福祉協議会	Web	金高

(2) 施設内研修

実施年月日	研修内容	参加人数
4月25日	事故対応	11人
5月25日	食中毒について	9人
6月27日	腰痛予防	8人
7月25日	介護技術「着脱介助」	9人
8月22日	運転マニュアル、交通事故対応マニュアル	10人
9月26日	認知症ケア	9人
10月24日	調理実習	9人
11月28日	感染症予防研修	9人
12月19日	介護技術「排泄介助」	9人
1月30日	リスクマネジメント	7人
2月27日	介護職の倫理	8人
3月26日	ハラスメント「介護ハラスメント」	8人

5 苦情の状況

苦情・・・2件

申出人	発生時	内容	対応・結果
本人	サービス 実施時	調理品が焦げている	謝罪する 職員に改めてサービス提供方法 を確認周知徹底する。
家族	サービス 実施時	1日2回訪問宅で1回服 薬を2回服薬した	服薬時の確認(名前日付の読 み上げ) 職員間の情報共有方法確認

Ⅳ 弥栄ヘルパー（障がい者向け訪問介護事業） 事業報告

目 標	実績	到達度
訪問の依頼があった場合、迅速に利用者に必要なサービスの支援が開始できるよう対応する	目標通り実施	A

1. 障がい福祉サービス事業

(1) 居宅介護 訪問時間数、訪問実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4年度	8:00	12:00	11:00	16:30	16:30	12:00	14:00	10:00	19:00	18:00	17:00	20:00	174:00
	1	1	1	2	2	2	2	1	2	2	2	2	20
5年度	18:00	21:00	19:00	19:00	20:00	17:00	11:30	10:00	12:00	12:00	10:00	10:30	180:00
	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24

(2) サービス内容別訪問時間数、延回数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	4年度	0:00	0:00	10:00	12:00	11:00	8:00	10:00	10:00	19:00	18:00	17:00	20:00	135:00
	5年度	18:00	20:00	19:00	19:00	20:00	17:00	11:00	9:00	11:00	11:00	9:00	10:00	174:00
		18	20	19	19	20	17	11	9	11	11	9	10	174
	5年度													
家事援助	4年度	8:00	12:00	1:00	4:30	5:30	4:00	4:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	39:00
	5年度	0:00	1:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:30	1:00	1:00	1:00	1:00	0:30	6:00
		8	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	7
	5年度													
通院介助	4年度	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
	5年度	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5年度													

※ 支援内容 家事援助…調理 買物

身体介助…出勤前の食事確認、整容、入浴介助、通院介助

(3) 同行援護 利用時間数、利用実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0:00
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5年度	-	0:00	0:00	0:00	12:00	8:00	16:30	16:00	17:00	9:00	9:00	9:30	97:00
	-	0	0	0	1	1	3	2	2	1	1	2	13

【同行援護】 視覚障がい者の外出支援

2. 浜田市地域生活支援事業（移動支援）訪問時間数、延回数

(1) 訪問時間数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3年度	6:00	6:30	5:00	0:00	0:00	14:30	10:00	5:00	0:00	0:00	0:00	0:00	47:00
4年度	0:00	5:00	5:00	6:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	16:00
5年度	0:00	0:00	5:00	5:00	10:00	10:00	5:00	5:00	0:00	0:00	5:00	17:00	62:00
	0	0	1	1	2	2	1	1	0	0	1	3	12

【サービス提供】

項 目	目 標	実 績	達成度
1. 身体介護	・ 羞恥心への配慮を心がけ、自尊心を傷つけないよう利用者の身になって接する。	計画通り実施	A
2. 家事援助	・ 利用者の生活歴やこだわりを理解して支援する。 ・ 利用者の有する能力を損なわないように支援を行う。	計画通り実施	A
3. 心身関係	・ 利用者の体調や状態の変化に配慮して対応する。	計画通り実施	A
4. 相談援助	・ 利用者の状態や生活の状況を把握し、必要なサービスの計画を策定する。	計画通り実施	A
5. 通院介助	・ 利用者状態を把握し、安全に配慮して支援を行う。	計画通り実施	A
6. 苦 情	・ 苦情の申し出には迅速、かつ適切に対応し、安心してサービスを継続させていただけるよう、サービスの改善に努める	苦情 0 件	—

【人材育成】

研修参加報告

弥栄ヘルパーひだまり分に記載

内部研修

弥栄ヘルパーひだまり分に記載

【その他】

1. 会議

弥栄ヘルパーひだまり分に記載

2. 職員の状況

居宅介護について、介護保険事業所 「弥栄ヘルパーひだまり」の職員が兼務して実施した。

同行援護については介護保険事業所 「弥栄ヘルパーひだまり」の有資格職員が兼務して実施した。

第4 公益事業

I ケアプランやさか(居宅介護支援事業) 事業報告

【経営】

項目	目標	実績	到達度
1 収入			
① 居宅介護支援事業	・介護報酬該当担当件数 月平均 要介護1・2 35件 要介護3～5 15件	・月平均 42.3件 内訳 要介護1・2 25.6件 要介護3～5 16.8件 ・達成率 84.7%	B
② 受託事業	・介護予防支援業務 月平均 40件 ・要介護認定調査 月平均 8件	・月平均 28.4件 ・達成率 71.0% ・月平均 3.3件	C
	開催状況 ・家族介護者交流事業(介護教室) 9月、10月 年2回開催 ・介護教室 9月、10月	A	

※ 令和5年度4月に入り職員の休職、6月末には退職となり、新規の受け入れを最小限にし、4月当初の契約者107件(その内介護報酬に繋がった要介護者49件、介護予防者33件)に対して支障のないように支援を行った。

※ 要介護の担当件数は合計508件で、前年度の554件より46件の減となり、月平均は42.3件で目標に対し達成率は84.7%となった。介護予防支援の担当件数は341件で、前年度の443件に対して102件の減となり、達成率は71.0%となった。いずれも、職員体制の変更により、7月から旧浜田市内、三隅町、寿光苑の利用者から居宅介護支援事業所の変更をお願いし、職員一名で対応可能な件数になるよう図り、利用者や家族に支障のないよう努めた。認定調査については、依頼に対して随時対応したが、3月に関しては依頼件数も多く、行政の協力も得て対応可能な件数のみ実施した。

重点目標】

	重点目標	実績	到達度
1	利用者とそのご家族とのコミュニケーションを重視し、おかれている立場の把握や内外的な要因を取り除くことによって、信頼関係を得るよう努めます。	令和5年4月以降、担当ケアマネジャーの交代、居宅事業所の変更にあたり、利用者及び家族に対し、真摯に説明をし、居宅事業所の選定に至っては、慎重に説明を行うよう努めた。	A
2	課題分析(アセスメント)を正確に行なうことによって、利用者及びご家族の抱える課題や問題と向き合います。	正確な課題分析を心がけ、課題解決に努めた。	A
3	今、必要とされる介護保険制度やサービス提供等の情報を適切に詳しく説明するとともに、医療機関との情報連携を図ります。	適切な情報収集と説明、対応ができず、自己負担が生じる事案があり、利用者家族・保険者・事業所等の理解や協力を得て解決に至った。	C

4	正確な身体の状態や生活環境等を把握し、その方の状態にあったサービスを提供できるよう、定期のモニタリング(サービス実施状況の把握及び評価)を行います。	利用者に最適なサービスが提供できるよう、重点目標のとおり実施することに努めた。	A
5	常に利用者の立場に立ち、何が今必要とされているかを一緒に考え対応します。	重点目標のことを常に心がけ対応した。	A
6	サービス事業所の選択に当たっては、利用者若しくはその家族の自由な選択を尊重し、複数の事業所の紹介を求めることが可能であるなどの説明を行います。	サービス事業所の選択が自由にできるよう、情報を提供した。	A

2 稼働率の向上

① 積極的な情報収集	地域の会議等への参加や、関係機関との連携を深め積極的な情報収集に努める。	・ 目標通り実施。 関係機関と同行訪問などで情報共有・課題解決に努めた。
② 在宅生活の維持	家族等の協力を得ながら、体調管理や転倒予防を行い、状態の変化が見受けられた場合、早期受診を促し入院の長期化及び介護状態の悪化を防ぎ、在宅生活の維持を図る。	・ 状態の変化に対して、早期受診を促したり、関係機関との連絡調整を行いながら環境整備に努めた。
③ 職員の資質向上	各種研修に参加し自己研鑽に努める。	・ 介護保険制度改正に伴う集団指導のみ参加。

※ 詳細については、【サービス提供】【人材育成】に掲載

【サービス提供】

項 目		目 標	到達度
1	質の高いケアマネジメントの推進	① 利用者に対する適切な対応 利用者の意思と人格を尊重し、常に利用者の立場にたって居宅支援を行なう。 必要に応じて、生活支援サービスの提供の組み合わせや、事業所間連携などを行ない、質の高いケアマネジメントを目指す。 ② サービスの評価・点検 提供するサービスの振り返りを行うことで、サービスの評価を行い改善を図る。 マニュアルやチェックリストなどを基に、定期的に	A

		点検を行う。 ③ 適切なモニタリングの実施 ④ 内部研修の活性化	
2	危機管理	① 秘密の保持、個人情報の管理 ・ 個人情報書類については、鍵のかかるキャビネットや引き出しに保管する。 ・ 営業時間外は、事務所に施錠する。 ・ タブレットや携帯電話の持ち出しについては、パソコン使用規程、携帯電話貸与規程及び管理簿により適切に管理するとともに、紛失しないよう十分配慮を行う。 ② 感染症・災害への対応強化 ・ 感染症についての知識及び対応方法などを身につけ、自らが感染症の媒体にならないよう配慮し、また、利用者にも感染症予防対策を周知する。 ・ 感染症の予防及びまん延の防止のための指針を策定し、指針に基づいた研修や訓練を実施する。 ・ 業務継続計画(BCP)を作成し、災害や感染症発生時の利用者の安全確保とケアマネジャー業務の維持・継続を図る。 ③ 苦情への対応 ・ 利用者及び家族、居宅サービス事業者、保険者との連携に努める。 ・ 苦情や相談には迅速に対応する。 ④ 事故等の防止 ・ 利用者が、悪質な訪問販売や詐欺の被害に遭わないよう、情報提供し助言する。 ・ 防災についての呼びかけや、避難所の確認などを行なう。 ・ 利用者に対し、あらゆる事故の防止について啓発を行う。 ・ 交通ルールを遵守し事故等発生防止に努める。	A A C A
※ 令和5年4月以降、新規の受け入れを最小限にし、弥栄町外の利用者及び寿光苑、受託事業についても他の居宅介護支援事業所、地域包括支援センターへ居宅の変更を依頼し、事業の縮小を行った。行政機関や地域包括支援センターとの連絡会議を随時行い、利用者の在宅生活の継続やサービス利用が円滑に営まれるよう協議し、必要な方への同行訪問を行うなどをして連携強化に務めた。			
3	地域との連携	・ 地域ケア会議、民生委員児童委員協議会定例会等への出席を通じて、関係機関等との更なる連携を強化する。	C
・ 毎月開催される「地域ケア会議」には、調整が可能な限り出席し、情報収集や意見交換を行った。 ・ 特に医療的管理を必要とする在宅療養中の利用者については、医療関係者や関係機関と協力や連携をし、同行訪問やカンファレンスへの参加に務めた。			

【人材育成】

1 研修

介護支援専門員は、広範囲な分野の知識と情報を必要とする専門職であるという認識を持ち、積極的な自己研鑽が必要であるが、今年度は職員が一人になった事で業務上での調整もつかず参加していない。

(1) 職場内研修

研修内容（計画）	実施状況
- 外部研修参加の復命 - 処遇困難ケースの検討及び新規ケースの情報の共有、事業所全体での依頼ケースのケア取組など - 利用者の人権擁護、虐待防止等について - 対人関係、対人援助技術等について - 保健医療及び福祉に関する諸制度と社会資源の状況等について など	成年後見人制度の利用やケアの取組状況等について、地域包括支援センターと情報の共有を図り、協議しながら取り組んだ。

(2) 職場外研修

種 類	内 容	参加状況
第1種 研 修	介護保険制度、総合事業に関する研修	・ 3/27 保険者による集団指導にZOOMで参加
	介護支援専門員の資格更新に伴う研修	・ 職員体制の変更に伴い不参加
	要介護認定訪問調査従事者研修	
	居宅サービス・支援計画書の作成に関する研修会	
	対人援助に関する研修	
	医療関係・認知症・虐待防止に関する研修	
	権利擁護・後見人制度に関する研修	

(3) 感染症の予防等に関する研修

感染症の予防及びまん延の防止のための指針に基づく研修

種 類	研修項目及び開催方法	実績	到達度
研修会	- 感染症の予防及びまん延防止のための対策を検討 - 弥栄苑等と合同開催	・ 弥栄苑の開催に併せて参加予定としていたが不参加	B
訓 練 (バリエーション)	- 感染症が発症した場合を想定した訓練 - 事業所単独及び弥栄苑等と合同開催	・ 単独及び合同での訓練は未実施	C

(4) 業務継続等に関する研修

種類	内容	実績	到達度
研修会・ 訓練	感染症及び災害に係る業務継続計画に基づいた業務継続等に関する研修 など	業務継続計画策定作業を進めたが、職員体制の変更に伴い、実施していない。	—

2 目標面接と能力評価

- ・ 今年度は職員体制の変更及び、事業所の休止を検討中だった為、未実施

【その他】

1 会議、委員会

(1) 会議

名 称	内容	到達度
ケアマネジャー 会議	・ サービス提供に係る留意事項の伝達、運営規程等遵守の確認など。 ・ 利用者等から要望又は苦情があった場合は、その内容及び改善方針について など	・ 法人本部に 随時相談しながら随時実施
感染対策委員会	・ 事業所及び利用者の感染症の予防とまん延の防止のための対策について検討する。	未実施

(2) 法人内他事業所との共催

名 称	内容	到達度
管 理 者 会 議	円滑な事業運営のため、各事業所の運営状況の把握及び運営に係る課題の協議を行なう。	A 計画通り 実施した。
役 職 者 研 修	組織及び役職者としての役割の理解と実践、自己のメンタル管理と自分で考える力を身につける。	—
防火管理委員会	施設の防火管理を適正に行えるよう検討する。	計画通り 実施
感染対策委員会	感染症の予防及びまん延の防止のための対策について、母体施設である弥栄苑等と合同で開催し、検討する。	弥栄苑と 合同開催で きなかった。
広報編集委員会	広報誌『ひだまり』の編集	—

(3) 法人外他事業所との共催

名 称	内 容	状 況
担 当 者 会 議	サービス計画の立案及び情報提供、サービス実施の評価、計画の見直しなどを行う。	随時実施
事 例 検 討 会	ケアマネジメントのスキルアップを目的に、他の居宅介護支援事業所と共同で事例検討会・研修を行う。	不参加

2 公益的事業の推進及び地域との連携

名 称	内 容	参加状況
地 域 ケ ア 会 議	町内在住の要支援高齢者の情報共有と、包括支援が円滑に取り組まれるよう、毎月1回開催されている会議へ出席する。	可能な限り参加した。
弥栄地区拡大地域ケア会議(仮称)	町内の包括ケアシステムの構築に向けて、関係者が集まり検討を行う。年2回開催される会議へ出席する。	未開催
弥栄地区ささえあい協議体会議	社会福祉協議会を中心に、町内の「ささえあい活動」の波及、「地域づくり」への連携・協働を図るため、年3回開催される。	体制の変更により対象外
浜田市第1層協議体会議	各地区の協議体での活動報告や協議内容を基に、浜田市生活支援体制整備に関わる体制の構築を図るため、年2回開催される。	体制の変更により対象外

3. 職員体制（令和6年3月31日現在）

単位：人

職 名		人数	ケアプランやさか業務			その他	備 考 (有資格)
			介護支援	事務	計		
管 理 者	正規職員	1.00	0.75		0.75	0.25 (公益事業)	主任介護支援専門員 准看護師
介護支援専門員	正規職員	0	0		0		
事 務 員	正規職員	1.00		0.20	0.20	0.80 (他事業所)	
合 計		2.00	0.75	0.20	0.95	1.05	

※ 6月末で介護支援専門員が退職となり、7月以降職員の増員にならず正規職員1名体制で介護支援業務を行った。尚、その他欄の公益事業(やさかやすらぎの家の相談業務、日常生活援助事業、高齢者等安心生活支援事業[声掛け訪問・支援員訪問])などについては、他事業所の協力を得ながら行った。

4. 訪問車両の更新

更新予定車両		備 考
車 名 (種別)	リース契約	
スズキ アルト (軽自動車) 2 台	令和 4 年 8 月 令和 5 年 2 月	・ 令和 4 年 8 月に「ヘルパーひだまり」と共用で リース契約を行った車両については、令和 5 年 5 月からヘルパー単独でリース中。

【報告資料】

(1) 年度末の契約者数及びサービス利用者数の状況

単位：人

	要介護	要支援・ 事業対象者	合計	備考
令和 4 年度末	59 (46)	43 (34)	102 (80)	
令和 5 年度末	43 (35)	30 (21)	73 (56)	※居宅事業所の変更、長期入院・入所、死亡による減
増 減	Δ17 (Δ12)	Δ13 (Δ13)	Δ30 (Δ25)	

※ () 内の数値は、介護報酬・委託料の対象になったサービス利用者数である。

※ 令和 5 年度末の契約者は 73 人で、そのうちサービス利用者（介護報酬・委託料請求件数）は 56 人であった。

(2) 年度末の地域別利用者数

単位：人

		弥栄町内		三隅町	旧浜田市	合計
		在 宅	寿光苑			
4 年度	要 介 護	36	3	2	5	46
	要支援・事業対象者	29	1	4	0	34
	合 計	65	4	6	5	80
5 年度	要 介 護	34	0	1	0	35
	要支援・事業対象者	21	0	0	0	21
	合 計	55	0	1	0	56

※ 令和 5 年度は、新規の受け入れを最小限にし、令和 4 年度末の寿光苑・三隅町・旧浜田市内の利用者については 7 月以降から居宅の変更を行った。また、令和 5 年度は他の居宅介護支援事業所からの受け入れもあり、利用者が複数から選択できる状況にある。

(3) 利用者の生活状況

単位：人

	家族と同居	高齢者夫婦	独 居	施設入所	合 計	内 夫婦または親子でサービス利用
R4 年 3 月	34	13	30	8	85	6 (3 組)
R5 年 3 月	37	15	22	6	80	4 (2 組)
R6 年 3 月	28	13	13	2	56	10 (5 組)

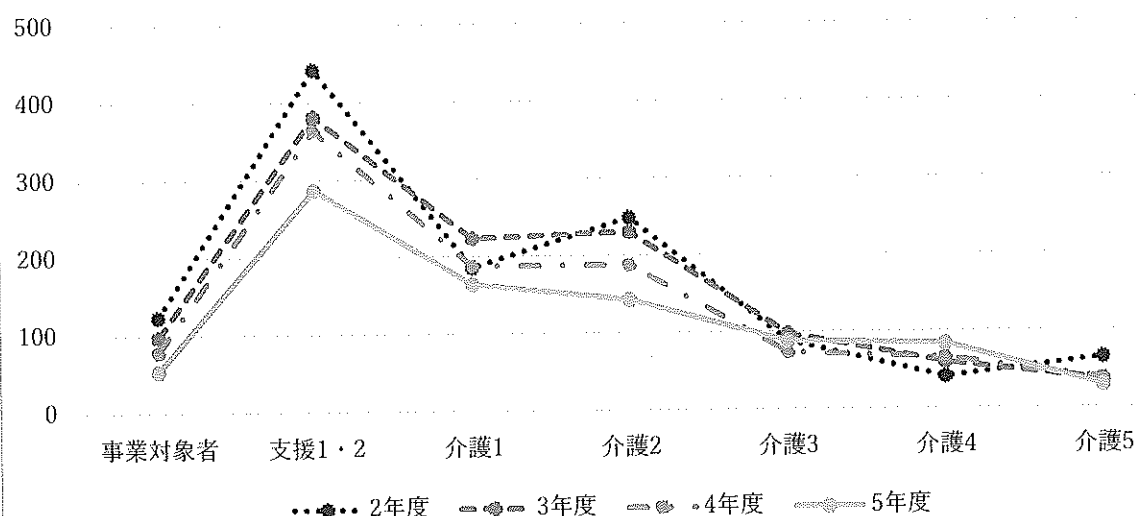
※ 施設入所は、養護老人施設及びやすらぎの家

(4) 介護度別年間利用者状況

単位：人

	事業 対象者	支 援 1・2	計	介護1	介護2	小計	介護3	介護4	介護5	小計	計	延べ 利用人数
2年度	124	443	567	186	249	435	89	41	65	195	630	1,197
3年度	98	382	480	224	231	455	98	60	36	194	649	1,129
4年度	79	364	443	188	188	376	74	66	38	178	554	997
5年度	54	287	341	164	143	307	88	84	29	201	508	849

介護度別年間利用状況



(5) 要介護認定訪問調査実施状況

単位：人

	在宅	施設	合計	備 考
3年度	35	36	71	
4年度	49	29	72	
5年度	20	20	40	浜田市、江津市からの要請に対応した。

(6) 介護報酬加算の状況

		初回加算	その他加算	請求合計	介護報酬に 対する割合
3年度	算定人数	31人	10人		
	請求金額	93,000円	19,000円	112,000円	1.2%
4年度	算定人数	35人	23人		
	請求金額	105,000円	67,500円	172,500円	1.8%
5年度	算定人数	27人	4人		
	請求金額	81,000円	12,000円	93,000円	1.1%

※1 初回加算は、新規利用者(要支援、要介護への移行を含む)及び2段階以上の介護度の変更時、2ヶ月以上の実績がない方の再利用時に居宅サービス計画作成を支援した場合に該当する。

※2 その他加算は、利用者の入院、退院・退所時等に、医療機関等と情報を連携し適切なケアプランを作成した場合などに加算される「退院・退所加算」「入院時情報連携加算」や介護予防の委託連携加算など。

(7) 家族介護者交流事業 実施状況

NPO 法人弥栄発リハビリネットと共催で、次の事業を実施した。

事業	実施日	内 容	参加者数
家族交流事業 ・ 介護教室	令和5年9月16日 9:45~12:00	・「ぼけますから、よろしくおねがいします」の映画観賞会と映画鑑賞に併せて体験談や懇談を行った。	28名
	令和5年10月21日 9:30~12:00 13:00~15:00	・認知症についての講演とVR体験を行った。	28名

(8) 特定事業所集中減算に係る判定届けの状況

判定基準	判定内容
対象サービス	訪問介護・通所介護・地域密着型通所介護・福祉用具貸与
対象率	紹介率80%以上

※ 前期、後期ともに訪問介護と通所介護、地域密着型通所介護については紹介率が80%を超え、減算の要件に該当するため届出書の提出を行なったが、当事業所は特別地域居宅介護支援加算（過疎地域に所在する事業所へ対する加算）を受けており、加算対象地域に居住する利用者が全体の90%を超えていることが、80%を超える正当な理由と認められ減算には至らなかった。

ア【前期】（令和5年3月～令和5年8月）の届出対象となった事業の紹介率の状況

訪問介護	通所介護	地域密着型通所	福祉用具貸与
弥栄ヘルパー 99.1%	弥栄デイサービス %	弥栄デイサービス 99.3%	岩多屋事業部 50.7%
輝ららタクシー 0.9%	美川デイサービス %	花あかり 0.7%	弁慶しまね 35.3%
			植野建材店 5.1%

イ【後期】（令和5年9月～令和6年2月）の届出対象となった事業の紹介率の状況

訪問介護	通所介護	地域密着型通所	福祉用具貸与
弥栄ヘルパー 93.4%		弥栄デイサービス 98.7%	岩多屋事業部 57.3%
ヘルパー花笑み 3.8%		ほっとリハデイ 1.3%	弁慶しまね 39.8%
美川ヘルパー 2.8%			椋木商会 2.3%

Ⅱ 高齢者等生活支援事業

1 日常生活援助事業

種 類	計 画	到達度
法人独自の 公益事業	・ 自立と生活の質の確保を図り、介護予防に繋げる。	・ 計画通り実施
① 介護用品斡 旋及び相談	・ 介護用品等についての電話・訪問による相談及び斡旋、日常生活上の相談	・ 訪問時に相談を受け、福祉用具の紹介やポータブルトイレや車いすの貸し出し等を行い、購入や貸与に繋げた。
② 訪問サービ ス	・ 食材の買い物や調理、洗濯、住居等の掃除、生活必需品の買物 ・ 食事介助、排泄、体位交換、入浴、清拭等、外出、通院、散歩等の付添い	・ 令和5年度は介護保険の利用で対応ができた為、事業の利用はなかった。
③ 通所サービ ス	・ 介護保険外の利用とする外出支援 ・ 半日利用や入浴のみの利用も可能 ・ 通所利用後の受診に伴い、家族対応が困難な場合の支援	・ <u>延べ31回</u> の利用 住環境の事情により、自宅での入浴が困難な方に支援を行った。

2 高齢者等安心生活支援事業

種 類	計 画	到達度
法人独自の 公益事業	・ 孤立感を解消し、一人でも安心して生活できる生活環境を関係機関とともに確立する。	・ 計画通り実施
(1) 声かけ訪問 【事業内容】 高齢者宅を定期的に訪問し、声かけ、安否確認、状態把握等を行ないながら相談相手や顔なじみになることなどで、孤立感の解消を図る。 【対象者】 弥栄地域内に住所を有する75歳以上の高齢者のみの世帯、及び日常の健康状態や近隣の協力体制から支援が必要と認められる65歳以上の高齢者のみの世帯とする。 ただし、弥栄福祉会が実施する介護保険事業及び、受託事業の利用者と同じ敷地内に親族等が在住する者を除く。 【実施状況】 訪問の同意をいただいた世帯の内、要介護認定を受けられ、サービスの利用に繋がった世帯については対象外とし、今年度は職員体制の変更もあり、対象者の更新を行わず、昨年度まで		

の対象者で介護サービスに繋がっていない方を対象として事業を行った。

今後は、地域包括支援センターに訪問状況の引き継ぎを行い、継続した状態把握や日常生活の心配事相談に繋げて頂きたい、支援を依頼している。

(2) 支援員訪問

【事業内容】

高齢者等から、体調の変化などの理由により支援要請の連絡を受けた場合は、支援員が訪問して相談や必要な支援などを行なう。

支援員の訪問は、原則として2名体制とする。

【対象者】

弥栄地域内に住所を有する75歳以上の高齢者のみの世帯、及び日常の健康状態や近隣の協力体制から支援が必要と認められる65歳以上の高齢者のみの世帯とする。

【実施状況】

令和5年度は、対象となる事業の実績はなかった。

Ⅲ 住宅型有料老人ホームの経営

1 やさかやすらぎの家運営事業

種 類	計 画	到達度
住宅型 有料老人ホーム	・ 地域における高齢者向けの住まいとしての役割を果たす。 ・ 日常生活に不安を持つ高齢者への生活指導、及び生活支援などを行なう事により、介護予防を推進し高齢者の健康を保持する。 ・ 共同生活を通じて、社会的孤独感の解消を図る。	・ 計画通り実施

【事業内容等】

1 入居定員： 6名

2 業 務： 常駐の職員を置かず、介護保険事業所の職員が兼務で次の業務を行った。

【部門別の業務等】

部 門	業 務 計 画 等	到達度
① 事務・管理 部門	・ 施設の運営の総括管理 ・ 契約事務 ・ 施設運営に関する庶務及び会計業務 ・ その他事務、管理	・ 計画通り実施
② 生活支援部 門	・ 生活相談、助言 ・ 介護保険サービスの紹介、利用支援等 ・ その他生活支援	・ 計画通り実施
③ 健康管理部 門	・ 定期的な安否確認 ・ その他健康管理	・ 計画通り実施
④ 食事の提供	・ 予約制により弥栄苑（空きスペース）に来ていただいて食事（朝食、昼食、夕食）を提供する。	・ 2,464食提供 前年度に比べ 181食の減

※ 身体拘束等適正化に向けての取組みなどの職員研修を行った。

※ 家族懇談会は、前年度と同様に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、また、弥栄苑が面会制限を行っていたこともあり開催しなかった。

※ 新型コロナウイルス感染症が5類に移行後、外出される頻度が多くなったが、マスクの着用、手洗いと消毒スプレーの使用など、予防対策の励行を継続して入居者へ要請した。

3 他のサービス利用： 日常生活に食事の提供、介護サービスの提供等が必要な場合は、日常生活援助事業、介護保険事業などを利用していただいた。

□ やすらぎの家 入居状況（月別利用率）

単位：％

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
3年度	83.3	83.3	83.3	83.3	76.3	66.7	66.7	68.9	83.3	83.3	83.3	83.3	78.8
4年度	83.3	93.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	98.9	83.3	83.3	83.3	93.8
5年度	83.3	83.3	83.3	83.3	83.3	83.3	83.3	83.3	83.3	83.3	83.3	90.9	84.0

※ 1カ月の平均利用率は84.0％で、前年度に比べ9.8％の減となった。

事業報告の附属明細書

社会福祉法第 59 条第 1 号に基づき報告する令和 5 年度事業報告の附属明細書については、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため作成していません。

令和 6 年 5 月

社会福祉法人 弥栄福祉会
理 事 長 串 崎 法 之